取扱説明書

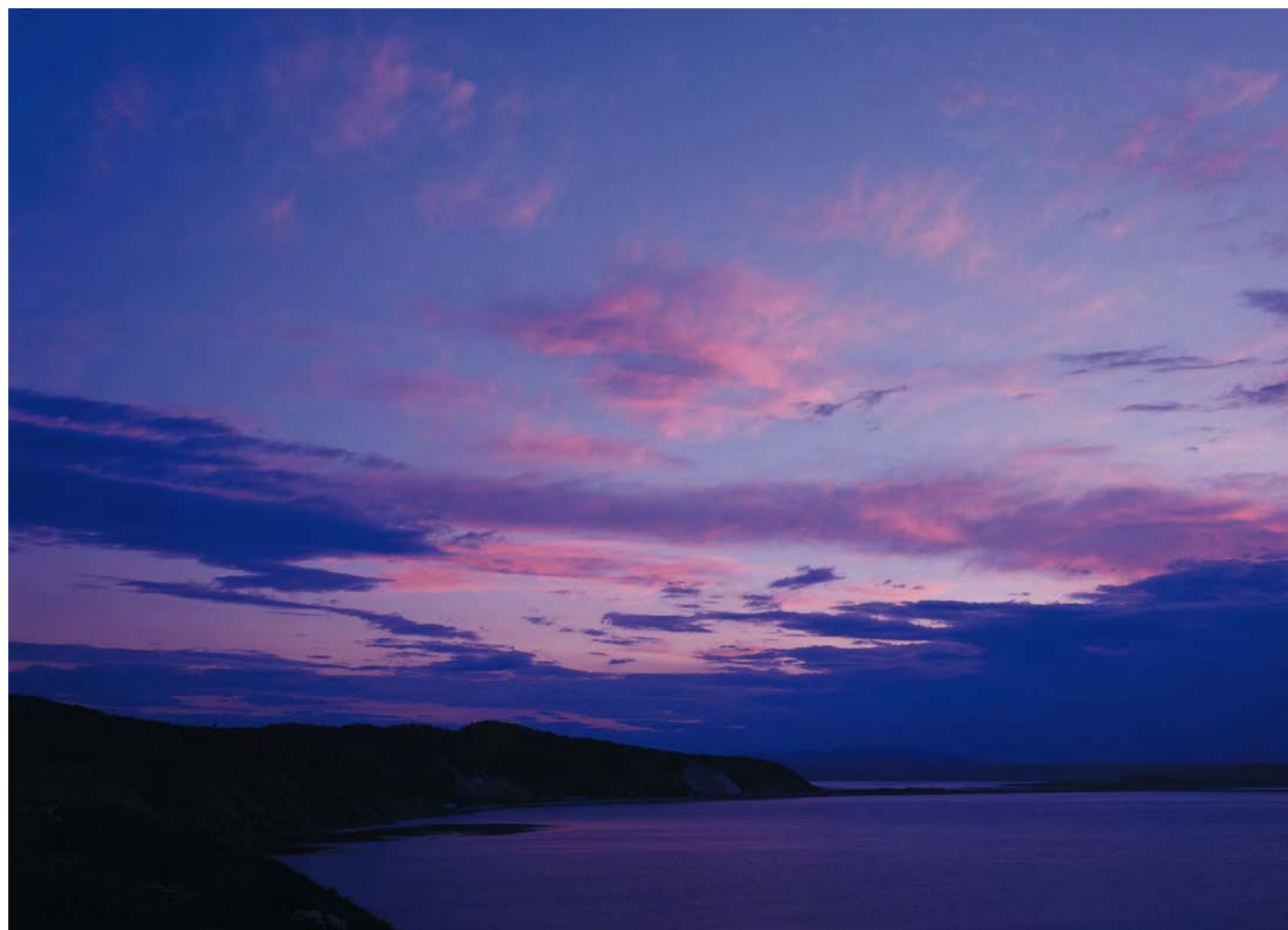
地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

品番 LCD-42DX200
LCD-47DX200

VIZON

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。とくに8～12ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。この取扱説明書は上記の機種の共用です。製品の品番は前面の表示でご確認ください。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

品番

保証書は必ずお受け取りください。

上手に使って上手に節電

このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

G-GUIDE

特長

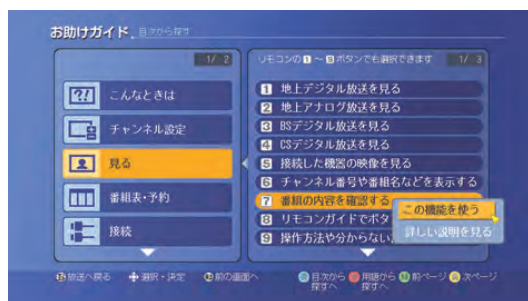
高速液晶 ➔ 40ページ

速い動きがさらにクッキリ。

「フルハイビジョン倍速液晶ドライバー」搭載。ニュース番組で流れるテロップ、アクションシーンやサッカー・野球など、動きの速い映像も残像感が目立たずクッキリした映像で楽しめます。

お助けガイド ➔ 4ページ

操作上の不明点をすぐに解決。

操作がわからなかったらボタンひとつで解説ページを開けます。「知りたいこと」「やりたいこと」からの検索も可能。

音声案内 ➔ 7, 24ページ

ボタンを押しまちがえたり、操作を失敗しないよう音声でやさしくアシスト。

ボタンの機能や設定方法をテレビがしゃべってお知らせします。

はっきりステレオ ➔ 28ページ

声が聞き取りやすいから、音量は控えめに。
音量が大きく感じるCMも自然に聞こえる。

人の声に合わせて音量を調節する必要がなく、CMに変わったときに大きく感じる音量も自然に聞こえます。小さな音が聞き取りやすくなるため、臨場感が広がります。

ゆっくりトーク ➔ 28ページ

ニュースやドラマの会話も、ゆっくり聞き取りやすいから、うれしい。

言葉の速度を調節して、会話を聞きやすくします。自然でゆっくりと聞こえる感覚が得られます。

アクトビラ ➔ 33ページ

テレビで楽しむインターネット。

「アクトビラ」を使えば、誰でも簡単に、安心のインターネットを楽しめます。

DLNA対応 ➔ 34ページ

つながる、広がる。

DLNA (Digital Living Network Alliance) は、家庭内LAN(ホームネットワーク)を用いてAV機器やパソコン、情報家電を相互に接続し、連携して利用するための技術です。DLNAのDMSに対応したパソコンやHDDレコーダーのデータを、本機で楽しむことができます。

もくじ

はじめる

楽しむ

知る

・イラストは主にLCD-47DX200のものを使用しています。

「お助けガイド」を使おう

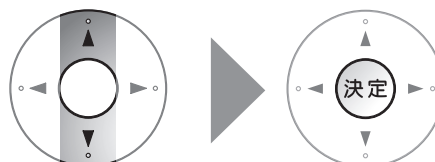
「お助けガイド」は、あなたのテレビ操作をお手伝いする機能です。

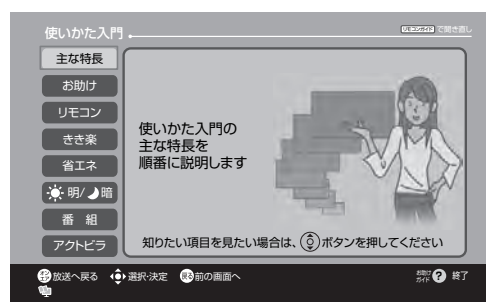
知りたいことを探す

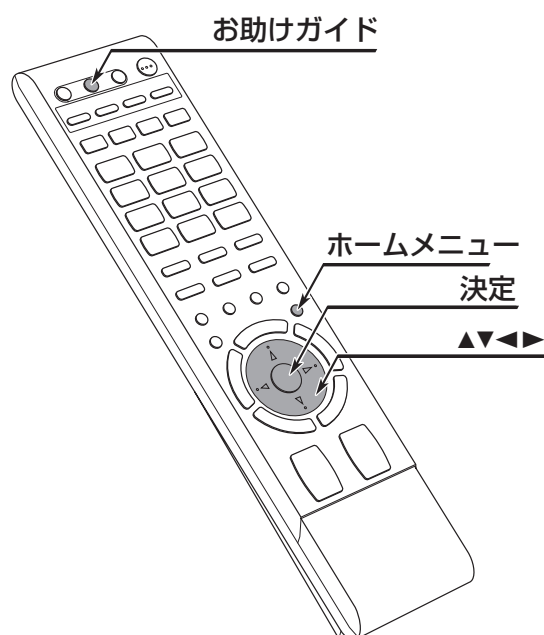
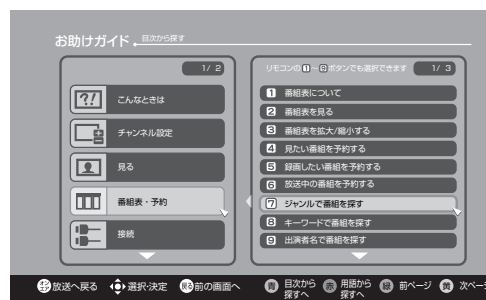
1 ホームメニュー を押す

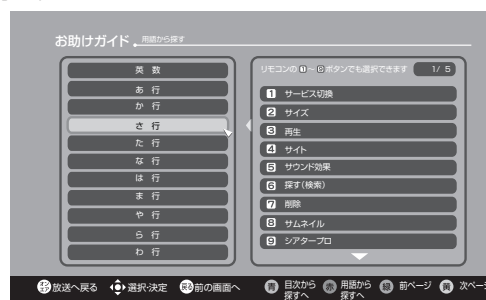
ホームメニューが開きます。

2 調べかたを選ぶ

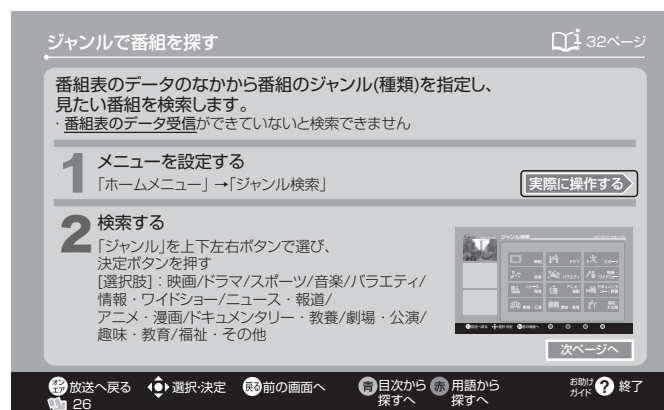
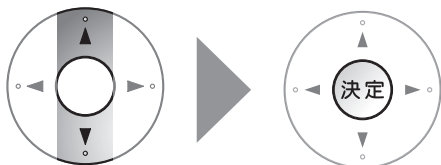
▲▼ボタンで項目を選び、**決定ボタン**を押します。

使いかた入門

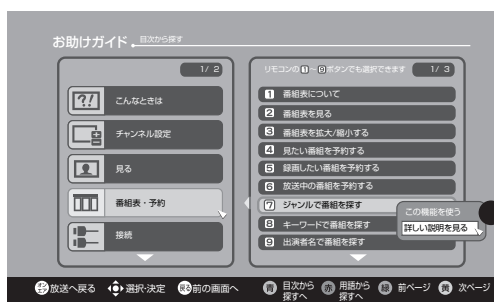
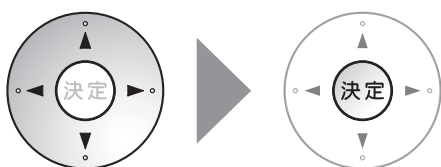
このテレビの便利な機能を音声と画像でご紹介します。

目次から探す

内容別の目次から、知りたい項目を選んで説明を読むことができます。

用語から探す

あいうえお順の目次から、知りたい用語を選んで説明を読むことができます。

・ 知りたい項目を探して解説を読むことができます。
・ 解説ページから実際の操作画面へ移動することができます。
・ 操作中にわからないことがあったら、ボタンひとつで解説ページを開くことができます。

3 説明を読みたい項目を選ぶ

▲▼**ボタン**と**決定ボタン**で項目を選びます。
「詳しい説明を見る」という項目が出たら、画面の説明に従って**青ボタン**または**赤ボタン**を押します。

▲▼◄►**ボタン**と**決定ボタン**で項目を選びます。
「詳しい説明を見る」を選んで**決定ボタン**を押します。

4 解説ページが開きます

解説ページでの操作➔ 次ページ

やりたいことを探して直接操作画面へ！
「この機能を使う」を選ぶと、実際の操作画面に移動することができます。

操作の途中で解説を読む

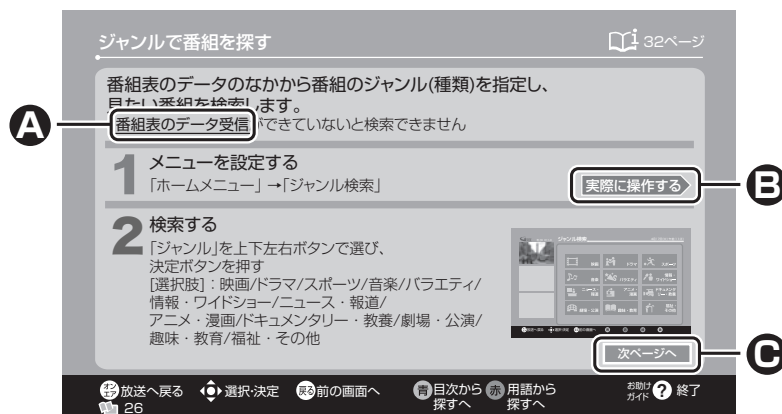
操作中、「この機能はどう使うんだろう？」と思ったら…

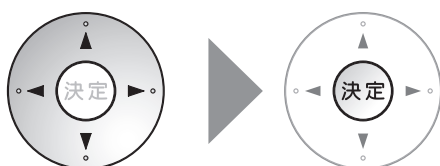
お助けガイド

を押す

操作中の機能に対応した解説ページが開きます。

- テレビ放送や外部入力の映像を見ているときは、「目次から探す」のページが開きます。

解説ページの見かた

▲▼◀▶**ボタン**で項目を選び、**決定ボタン**を押します。

- 選択されている項目にはオレンジ色の枠が付きます。

リンクをたどる ― A

青色の下線のついた項目を選ぶ

実際の操作画面に移動する ― B

「実際に操作する」を選ぶ　実際に操作する

次のページを見る ― C

「次のページへ」を選ぶ

用語の解説を見る

灰色の背景のついた用語を選ぶ

- 選んだ用語の解説が表示されます。

前のページに戻る

を押す

「目次から探す」に戻る

を押す

「用語から探す」に戻る

を押す

解説を閉じてテレビ放送に戻る

を押す

解説を閉じて接続した機器の映像に戻る

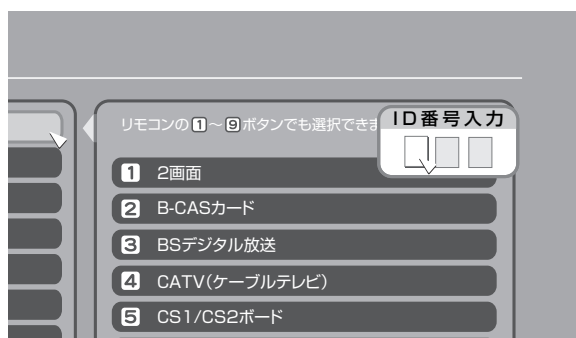
をくり返し押す

解説ページを直接開く

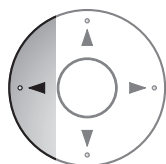
本文中のアイコン 000 は、お助けガイドの解説ページの番号を表しています。この番号を入力すると、知りたい項目の解説ページを直接開くことができます。

・お助けガイドの項目とページ番号は巻末にも記載されています。
➔ 51ページ「お助けガイドの項目一覧」

1 「目次から探す」または「用語から探す」の画面で 番号入力 を押す

画面右上に番号入力欄が表示されます。

2 3ケタの番号を入力する

・「0」は**10ボタン**で入力します。

入力をまちがえたら

を押す

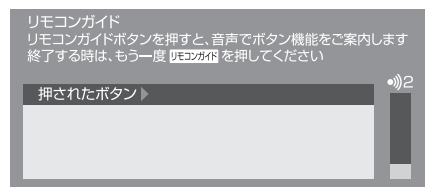
ひとつ前の位に戻ります。

例

045 の解説ページを開くには

「リモコンガイド」を使おう

リモコンボタンの操作・機能をテレビからの音声でご案内します。

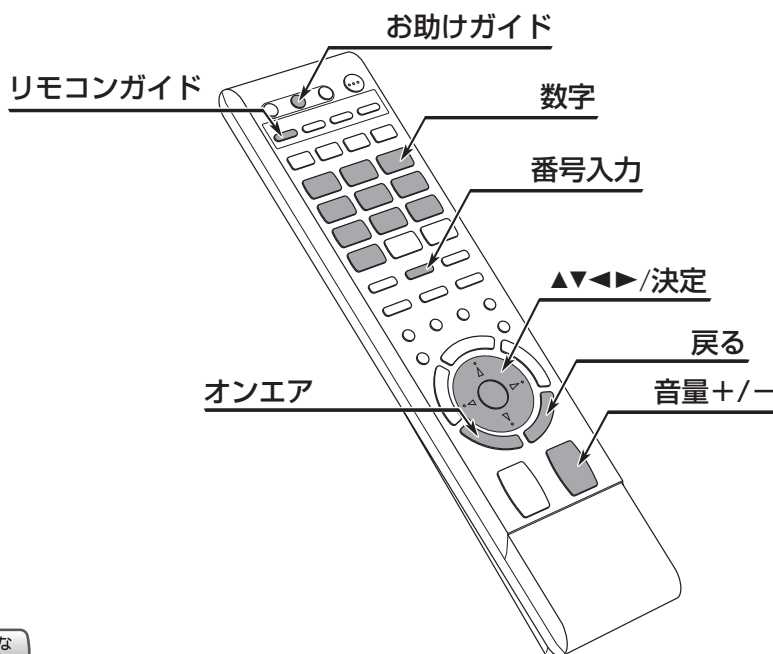
1 を押す

2 説明を聞きたいボタンを押す

押されたボタンの説明が画面に表示され、解説が音声で流れます。

リモコンガイドの音量を調節するには

音量+/−ボタンを押して音量を10段階で調節します。

リモコンガイドを終了するには

リモコンガイドボタンをもう一度押します。
画面表示が消え、もとの音量に戻ります。

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

⚠注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

ケガに注意

手を挟まれないように注意

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

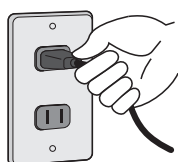
水場での使用禁止

実行して欲しいこと

プラグをコンセントから抜く

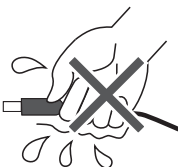
⚠警告 設置・使用

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

一般的注意

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

禁止

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

禁止

表示された電源電圧（交流100V)以外で使用しない

禁止

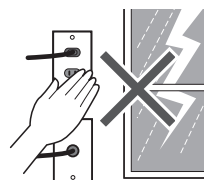
電源コードを傷つけない

- 電源コードを加工しない
- 無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない

- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない

禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電注意

この機器の上に水の入ったものを置かない

禁止

内部に物を入れない

感電を起こすことがあります。特にお子様には十分注意してください。

禁止

この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットは外したり改造しない

分解禁止

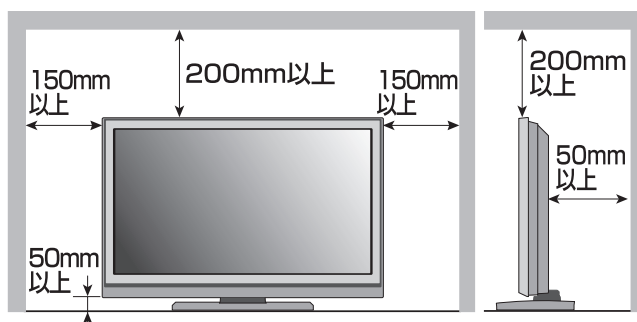
不安定な場所に置かない

禁止

壁や他の機器と間隔をあけて設置する

一般的注意

放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。

本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。

通風孔をふさがない

- 押し入れ、本箱などの上に置かない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまにしない

禁止

風呂場などの水のある場所で使わない

水場での使用禁止

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける

本機は、電源プラグの抜き差しで、主電源が入り/切りします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

一般的注意

万一異常が発生したときは

●煙が出ている、異臭がする。
●画面が映らない、音が出ない。
●内部に水や物が入ったとき。
●落下などにより破損したとき。
●電源コードが傷んだとき。

電源スイッチを切る。
電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

注意 設置・使用

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類を外す

プラグをコンセントから抜く

すべてのランプが消えていても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると、本機には電力が供給されています。完全に電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間、音が歪んだ状態で使わない

禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

一般的注意

テレビは重いので、必ず2人以上で持つ

一般的注意

電源コード、接続ケーブルは引っかからないように本体後面で束ね、壁、床などのすみに配置する

一般的注意

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

禁止

この機器の上に重い物を置かない

禁止

キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

キャスターにストッパー機能があるときは、必ずストッパーをロックしてください。

一般的注意

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様の手の届くところに置かない

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

禁止

健康のため、1時間ごとに10分～15分の休憩をとり、目を休めてください

一般的注意

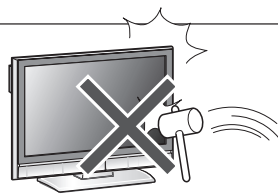
1年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください

一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください

一般的注意

液晶画面に衝撃を与えない
（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。

禁止

本体パネルの下部を持って前後に傾けない

本体パネル部分の下側中央部を持たないでください。指が挟まれて、けがの原因となることがあります。

また、無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

ケガに注意

手を挟まれないように注意

次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

禁止

お手入れのしかた

画面のよごれは

画面には反射防止のための表面コーティングなど、特殊な薄膜層が形成されています。この薄膜層がダメージを受けると「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので次のことに注意してください。

- 画面にのりやテープなどを貼らない
- 画面にペンなどで書き込みをしない
- 画面を硬いものにぶつけない
- 画面を結露させない
- 画面をアルコールなどの溶剤などでふかない
- 画面を強くこすらない

画面のよごれを取り除く場合には、柔らかい布またはクリーニングクロスを使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行なってください。

キャビネットのよごれは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- シンナーやベンジンでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品など長時間接触させたままにしない

スタンド・フレームのよごれは

光沢仕上げ面が汚れたときは、ほこりを払ってから光沢面を柔らかい布（綿・ネルなど）で拭いてください。

- 光沢面に指の跡などがついた場合も、この方法できれいにすることができます。
- 最初に光沢面のほこりを払ってください。ほこりが残っている状態で布拭きすると、光沢面が傷つくことがあります。

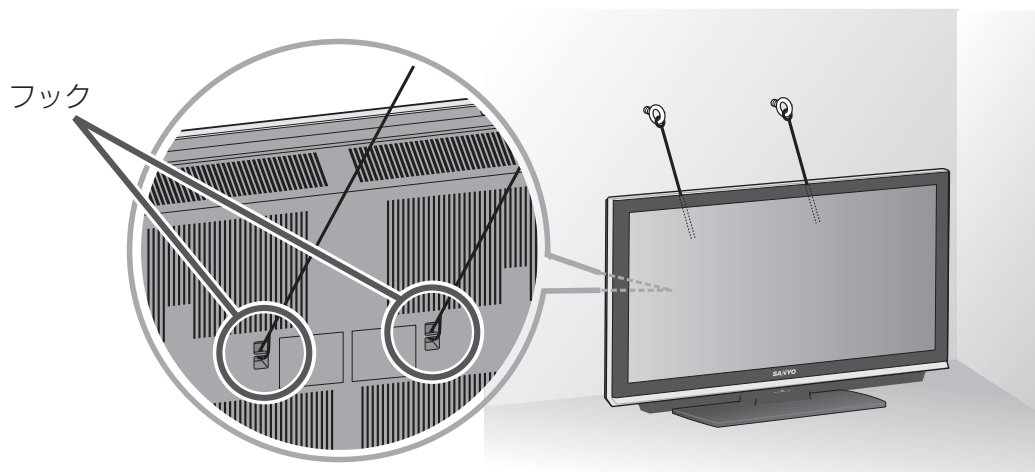
通気孔に付着したほこりは

本体後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

⚠注意 設置・使用

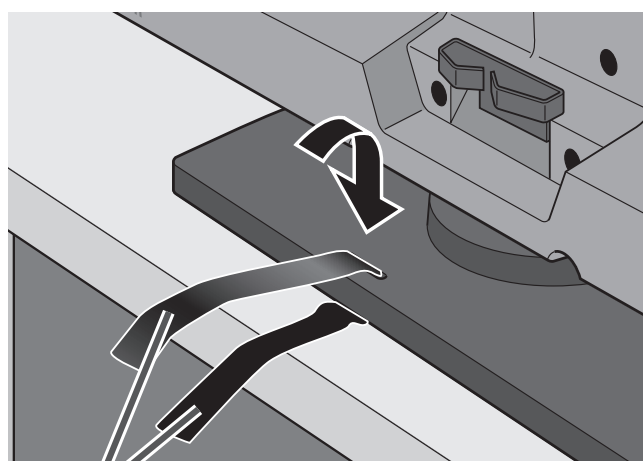
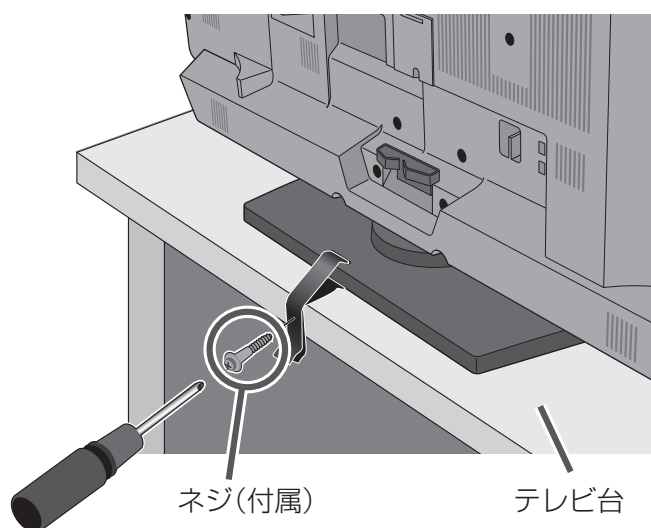
地震等での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

壁または柱などに固定するとき

本体後面のフックに、市販の丈夫なひもなどを結び、壁面や柱など堅牢部に固定してください。

壁にかけるとき

本機を壁にかけて使用するときは、必ず専用の角度調節可能ウォールマウントユニット（別売）をご使用ください。
壁掛けユニットの据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または販売店に、ご依頼ください。

テレビ台に固定するとき

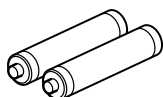
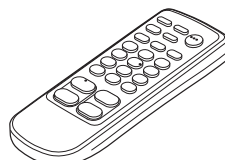
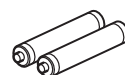
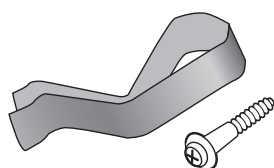
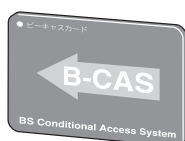
1 本体スタンド後面にあるバンド用の穴に固定用バンド（付属）を通す

2 固定用バンドの長さをそろえ、プラスドライバーを使ってネジ（付属）でテレビ台などに固定する

※説明図は実際の外観と異なることがあります。

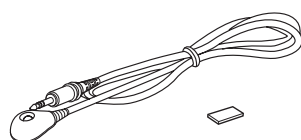
はじめる

準備

付属品

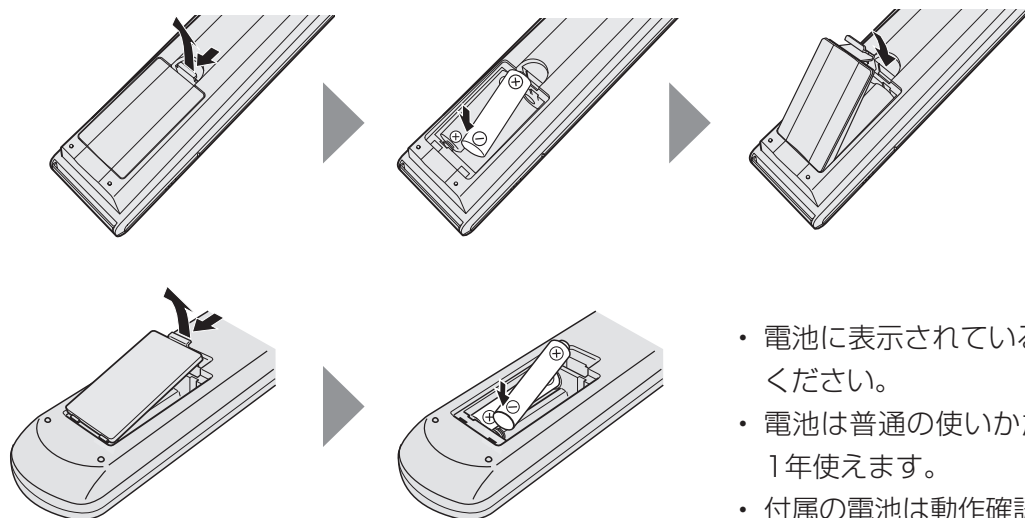
不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店または最寄のお客様相談窓口までご連絡ください。（➔ **56**、**57**ページ）

リモコン
(RC-512V)

単3形乾電池
(動作確認用)

サブリモコン
(RC-513V)

単4形乾電池
(動作確認用)

固定用バンド、
バンド用ネジ

B-CASカード

地上アナログアンテナ用F型接栓
（4Cタイプ/5Cタイプ）

ビデオリモートコントローラー(Irシステム)(約2m)、
両面テープ(ビデオリモートコントローラー固定用)

取扱説明書、
かんたん設置·設定ガイド、
その他の印刷物

リモコンに電池を入れる

ショートを防ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池は普通の使いかたで、約6か月から1年使えます。
- 付属の電池は動作確認用です。

本体

258

SDカード挿入口

入力切換ボタン
（➔ **27**ページ）

画面サイズ選択ボタン
（➔ **27**ページ）

チャンネル+/−ボタン
（➔ **26**ページ）

音量+/−ボタン
（➔ **26**ページ）

電源ボタン
（➔ **26**ページ）

ヘッドホン端子
（➔ **36**ページ）

スピーカー

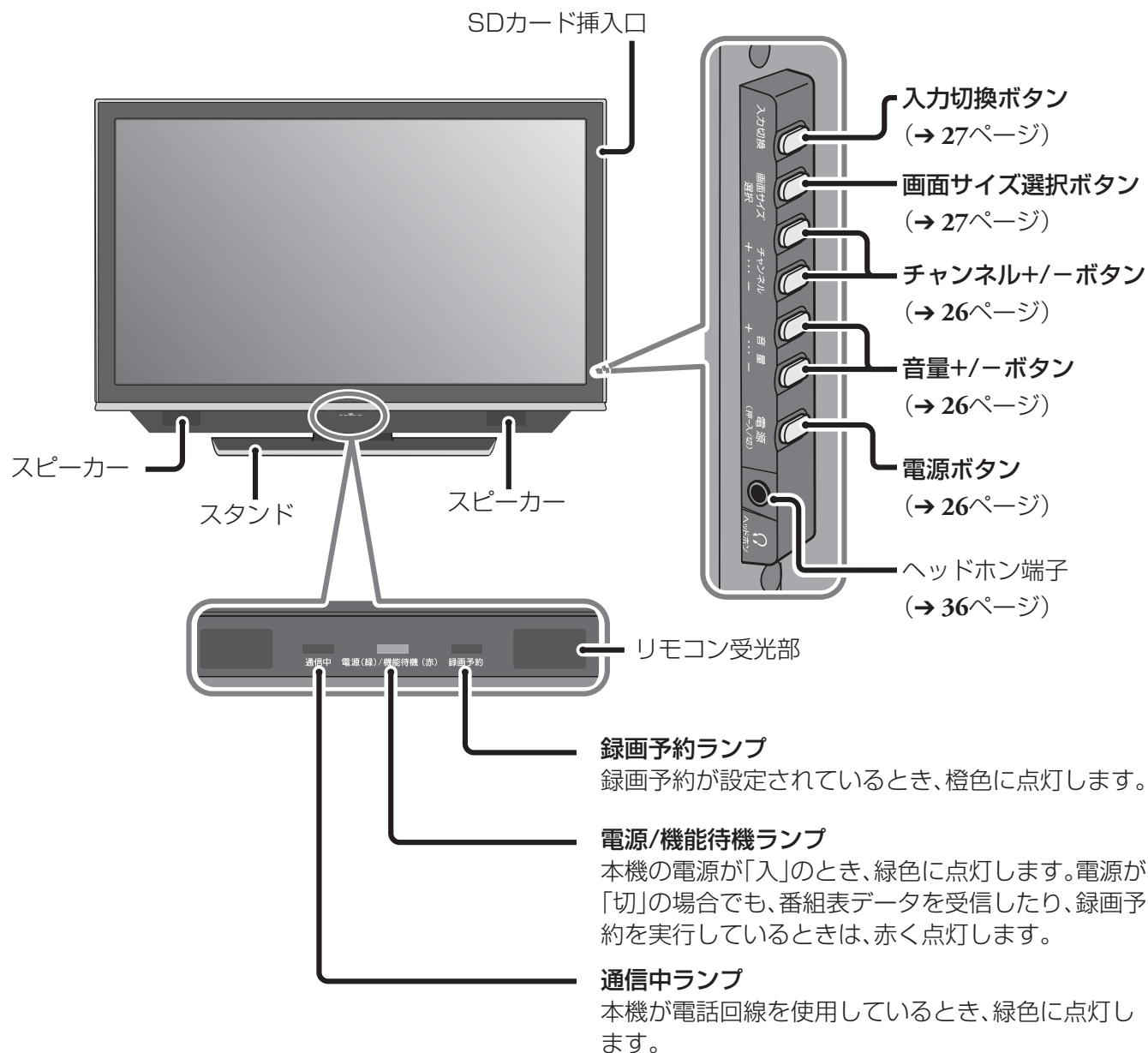
スタンド

スピーカー

リモコン受光部

録画予約ランプ
録画予約が設定されているとき、橙色に点灯します。

電源/機能待機ランプ
本機の電源が「入」のとき、緑色に点灯します。電源が「切」の場合でも、番組表データを受信したり、録画予約を実行しているときは、赤く点灯します。

通信中ランプ
本機が電話回線を使用しているとき、緑色に点灯します。

画面の角度を調節するときは

左右それぞれに20度以内で調節できます。スタンドと本体パネルの側面をしっかりと押さえながら、ゆっくりと傾けてください。

設置

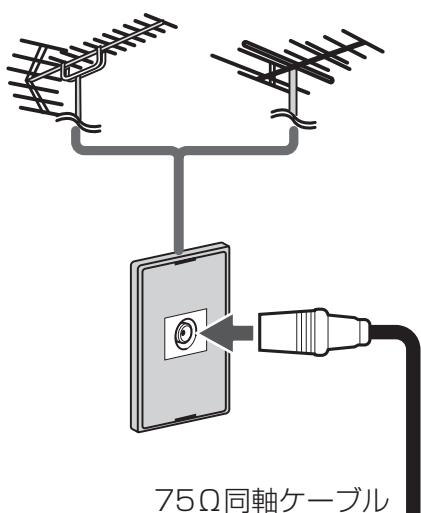
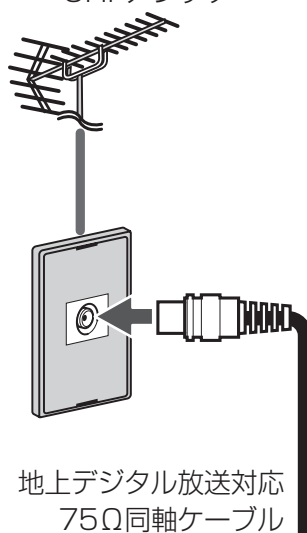
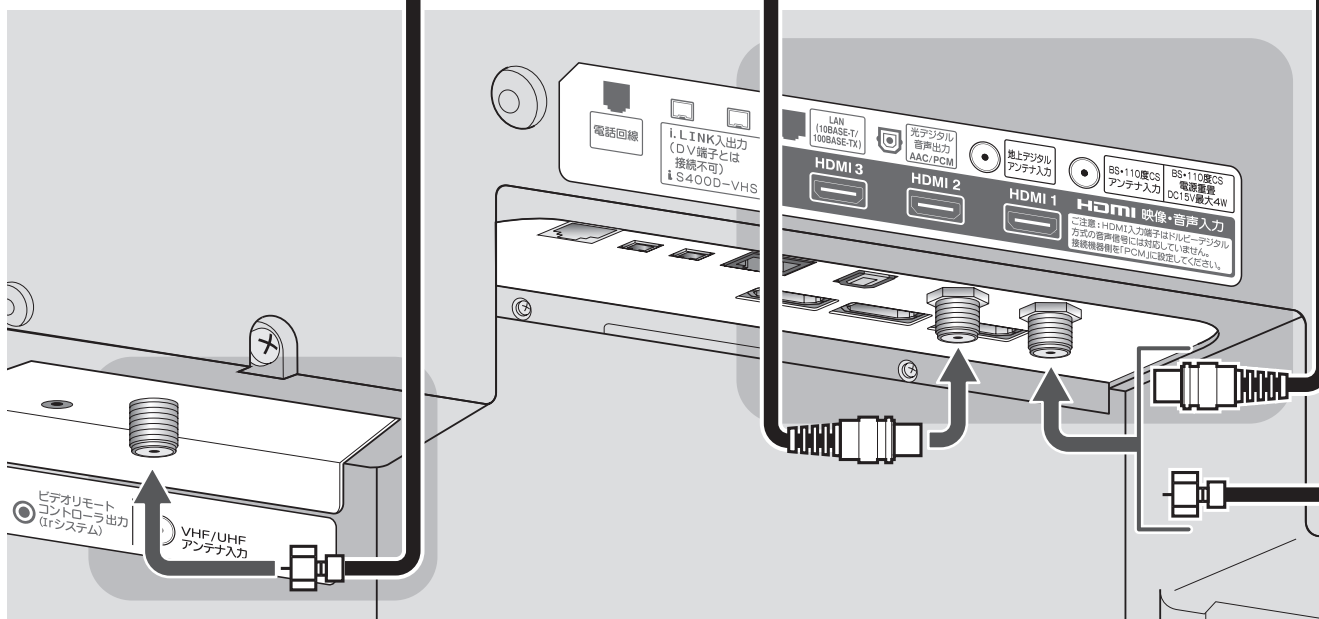
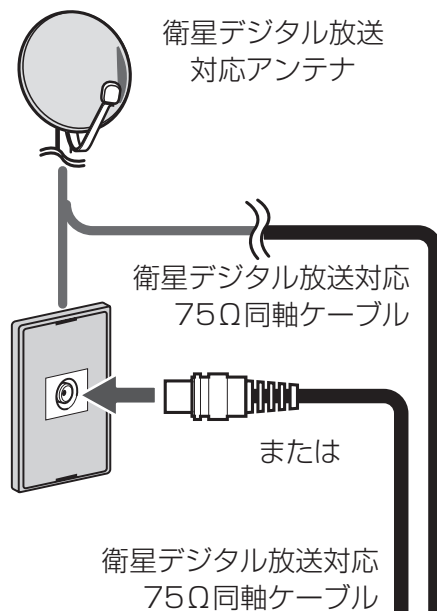
8〜**12**ページをよくお読みのうえ、正しく設置してください。

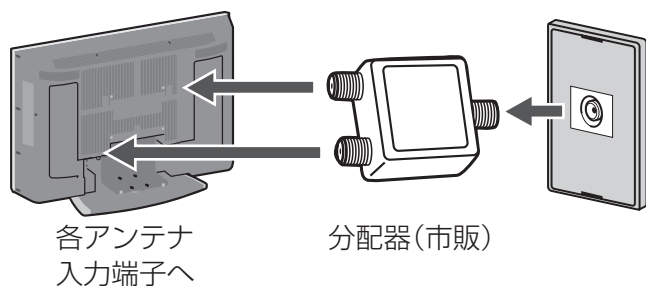
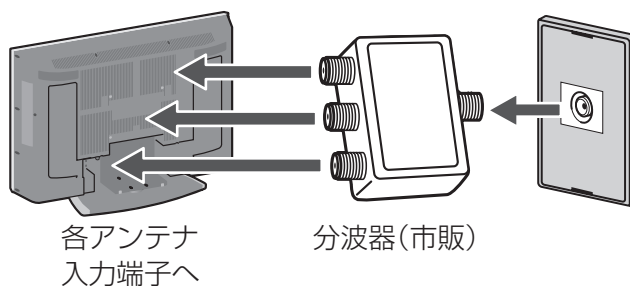
接続する

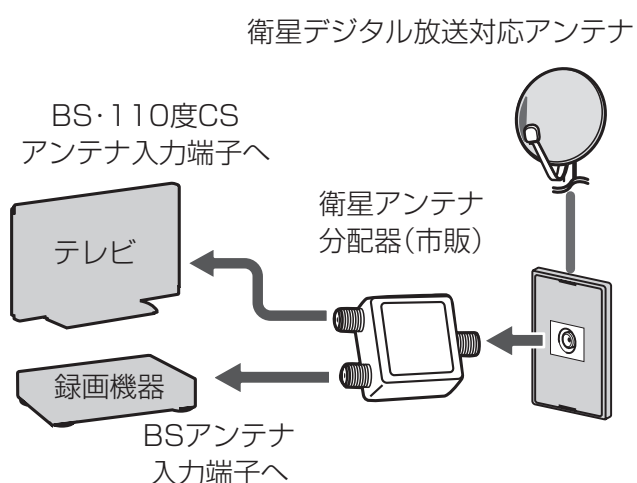
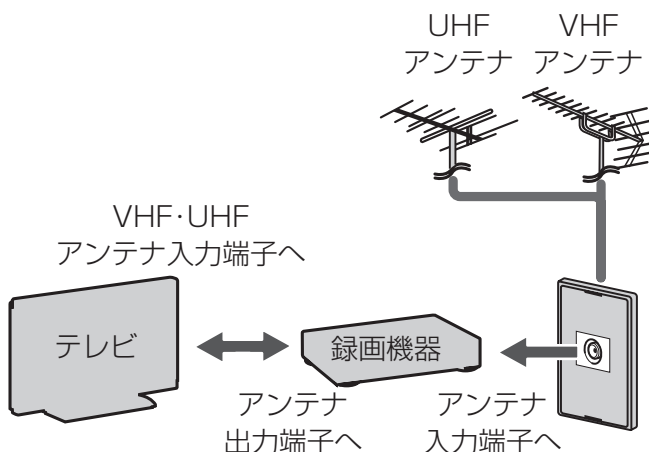
アンテナの接続

260 別紙の「かんたん設置・設定ガイド」もご覧ください。

テレビ放送を見るために必要な接続です。

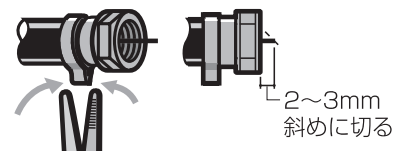
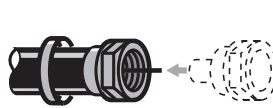
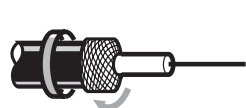
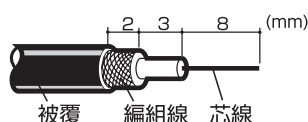
ご覧になりたい放送に応じてアンテナを接続してください。

集合アンテナで放送が混合されているとき

● 地上アナログ放送(VHFとUHF)と地上デジタル放送のアンテナが混合されているとき

● すべての放送のアンテナが混合されているとき

チューナー内蔵の録画機器を接続するとき

● BSアナログチューナー内蔵の録画機器をつなぐときは

● 地上アナログチューナー内蔵の録画機器をつなぐときは

F型接栓(付属)のつなぎかた(地上アナログアンテナ用)

2種類のF型接栓 (4C、5C) を付属しています。お使いのときはケーブルの太さに合わせたタイプをご使用ください。

- 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなるので、使わないでください。
  またアンテナ線の接続には、付属のF型接栓をお使いください。
- 芯線と編組線が接触しないようにしてください。
- ケーブルの先端を処理するときは、芯線に傷をつけないようにしてください。
- リングは、必ず被覆の上で締めてください。

1 ケーブルを加工する　2 リングをとおす　3 コネクターを差し込む　4 リングをペンチで締める

外部機器の接続

録画のための接続 159

テレビで受信した映像と音声を録画機器に送るための接続です。

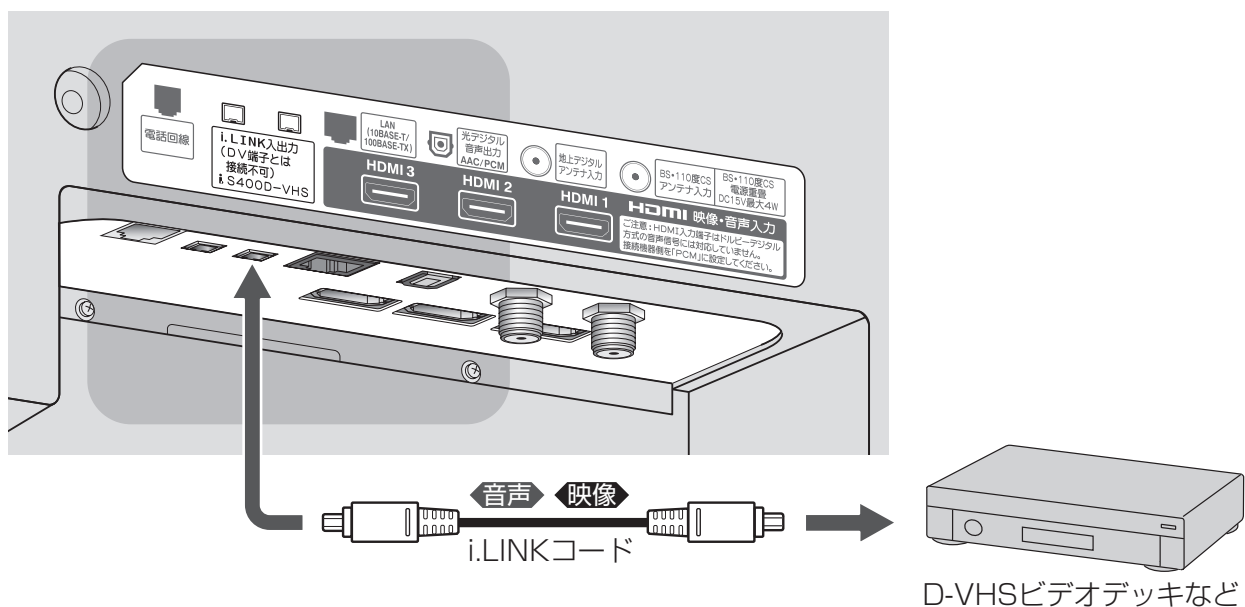
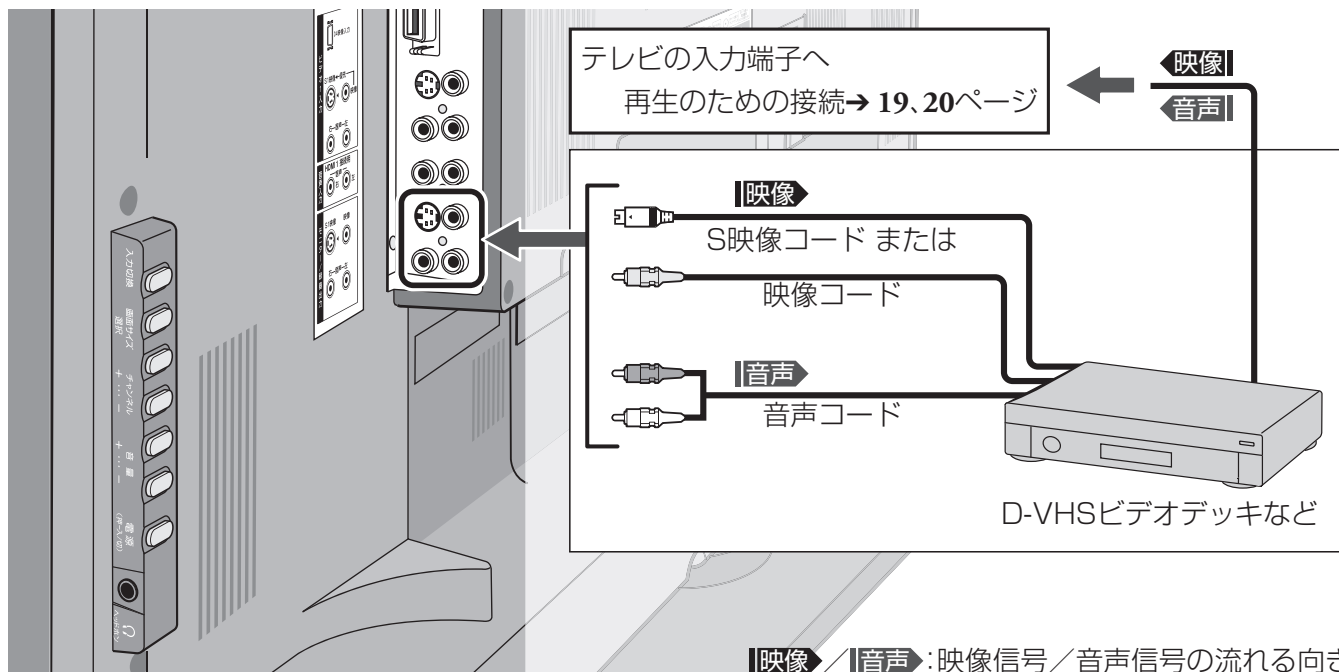
マクロヴィジョン
著作権保護された番組をビデオなどで録画する場合、著作権保護のための機能が働いて、正常に録画できません。また、著作権保護された番組をビデオデッキを介して本機以外のTVモニターなどに接続して見た場合、映像が乱れることがあります。

録画機器にi.LINK端子がある場合

i.LINKで接続すると、ケーブル一本でデジタル放送をデジタル録画・デジタル再生できます。また本機からD-VHSビデオデッキなどを操作できます。

- 機器によっては操作できない場合があります。

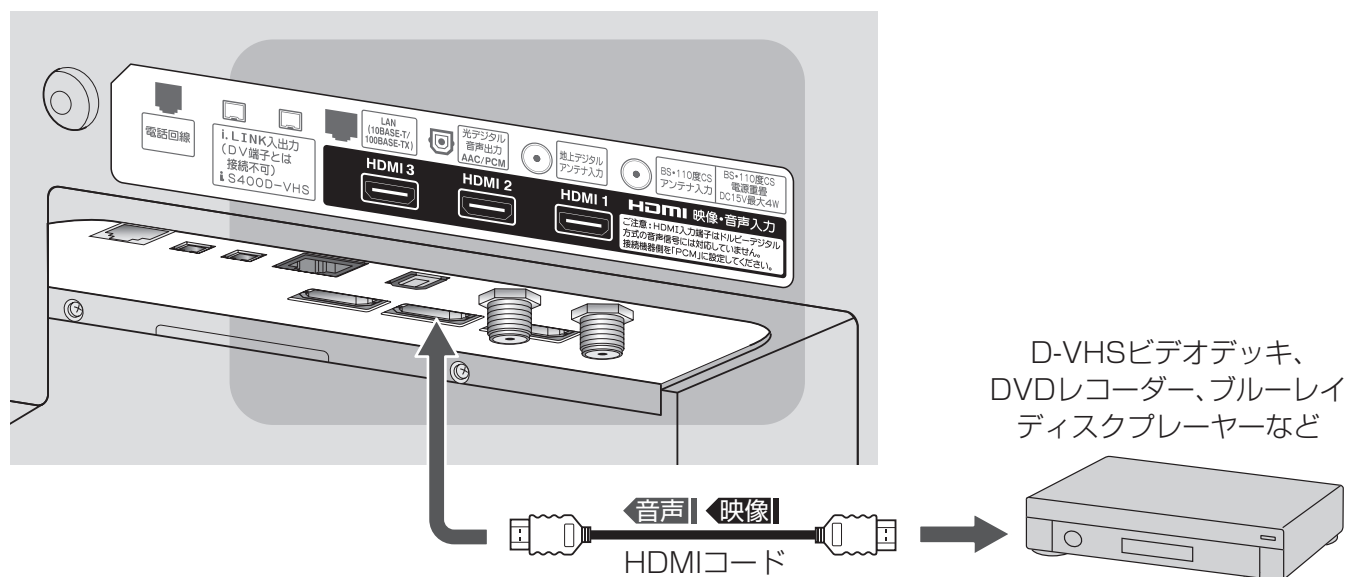
録画機器にi.LINK端子がない場合

映像／音声：映像信号／音声信号の流れる向き

再生のための接続 229

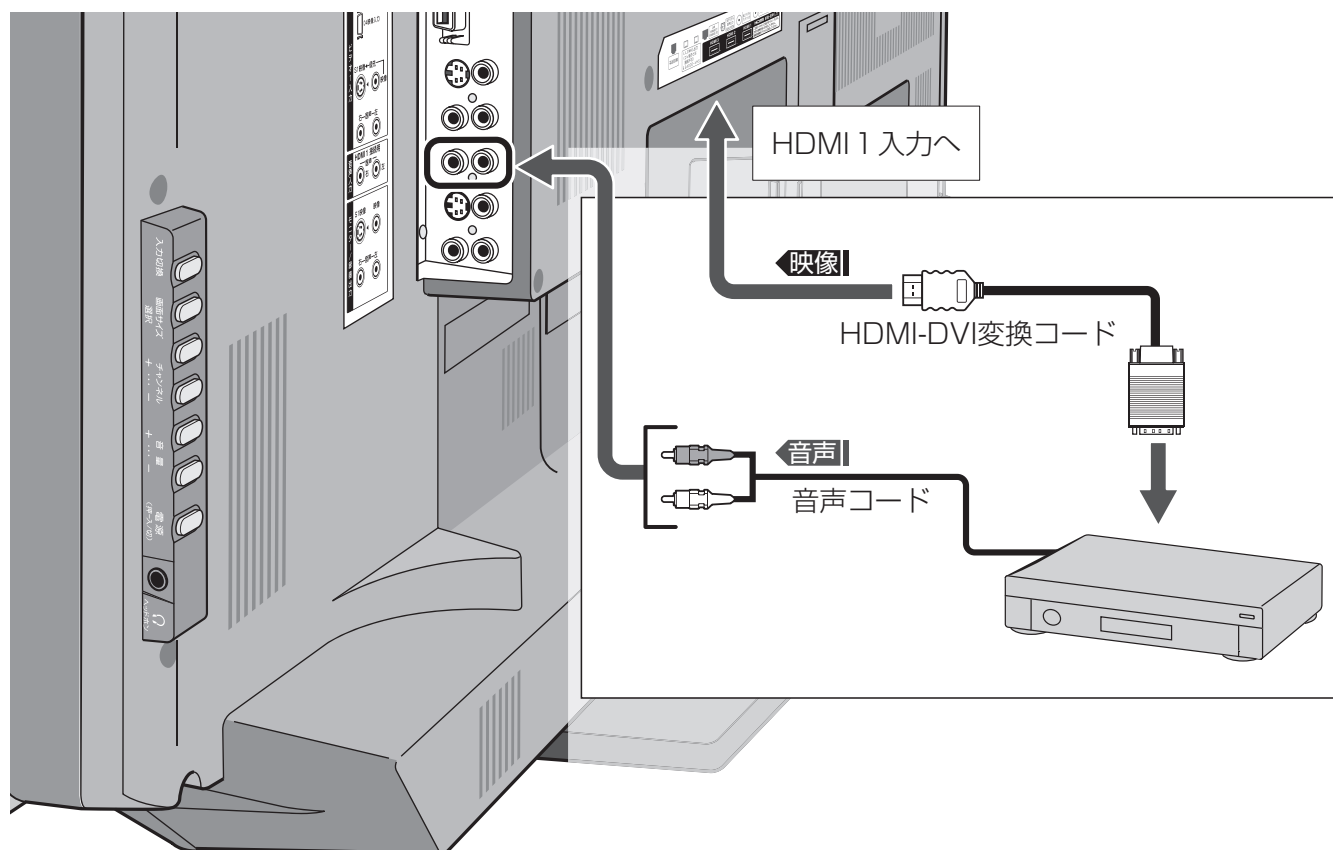
接続した機器の映像と音声をテレビで楽しむための接続です。

HDMI端子がある場合

HDMIコード１本で映像と音声を再生できます。

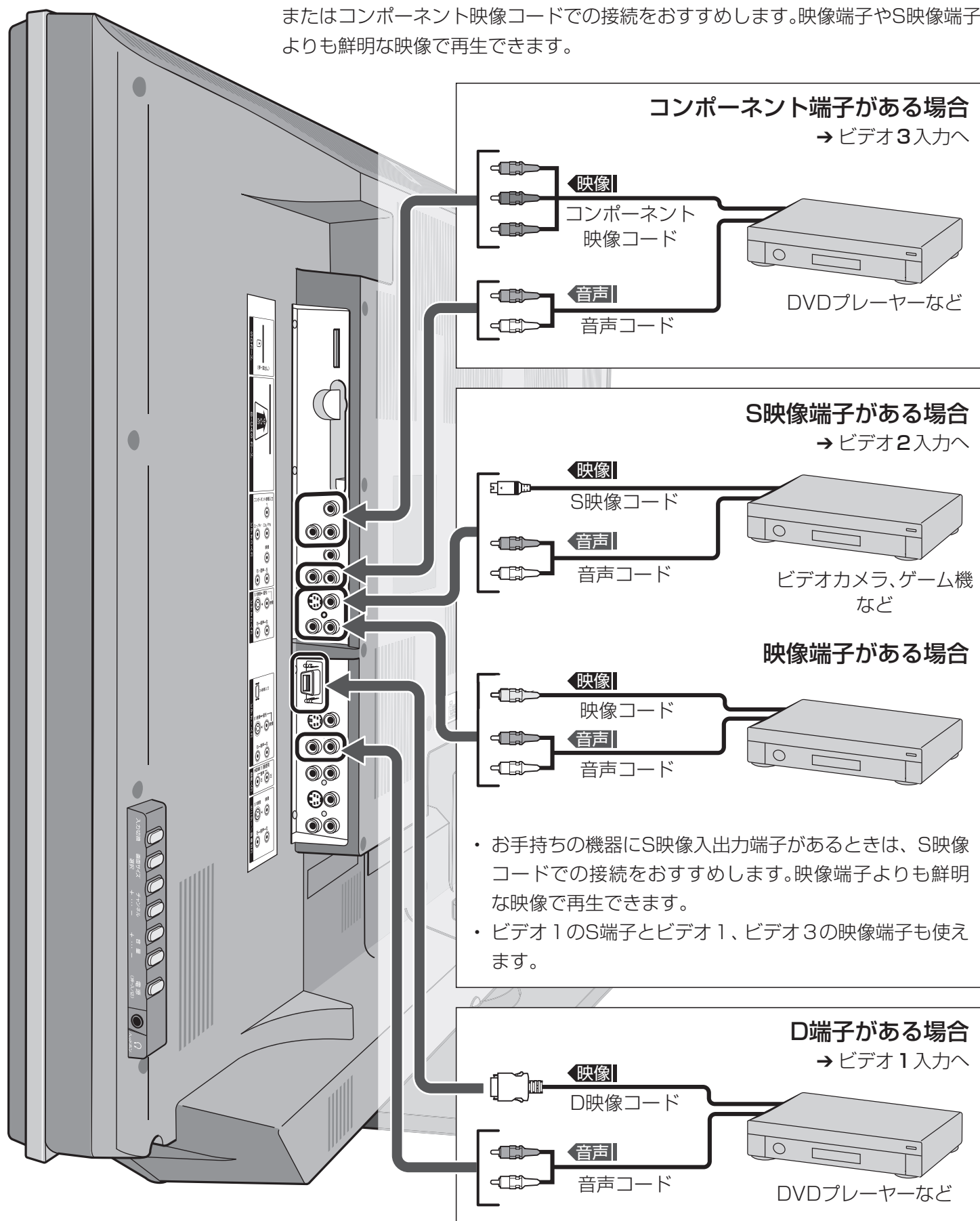
・ 本機はHDMI CECに対応しています。➔ **49**ページ

DVI端子がある場合

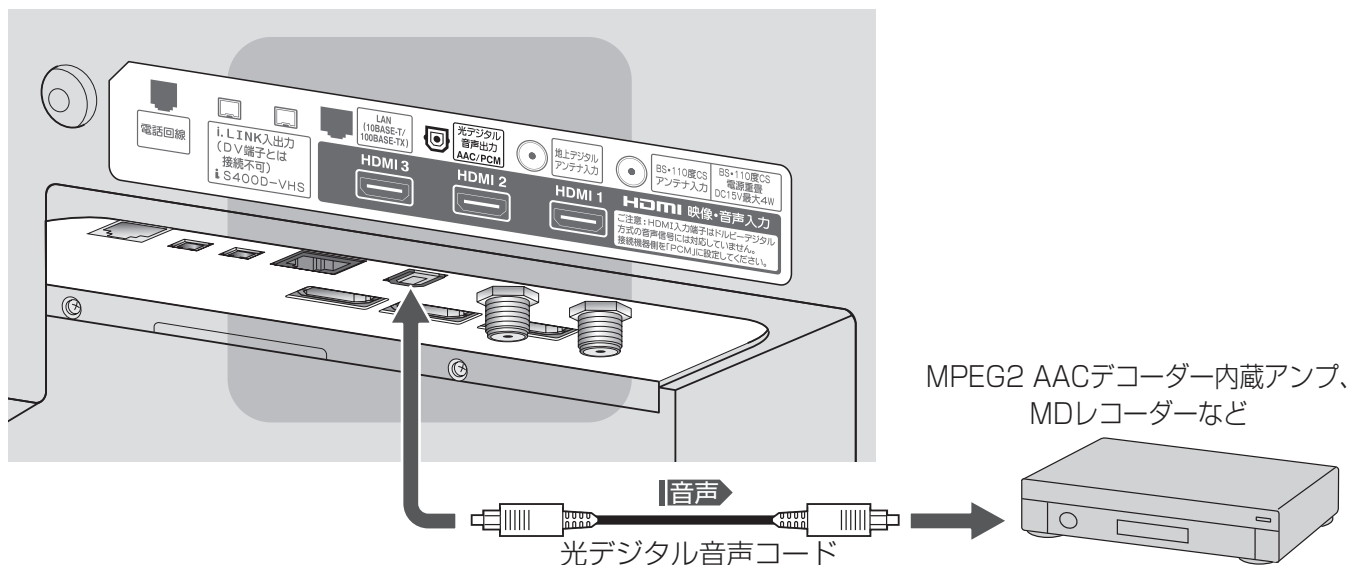
HDMI-DVI変換コードをお使いください。

HDMI 1 入力へ
映像
HDMI-DVI変換コード
音声
音声コード

再生のための接続（続き）

・お手持ちの機器にD映像出力やコンポーネント映像出力があるときは、D映像コードまたはコンポーネント映像コードでの接続をおすすめします。映像端子やS映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。

・お手持ちの機器にS映像入出力端子があるときは、S映像コードでの接続をおすすめします。映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。
・ビデオ1のS端子とビデオ1、ビデオ3の映像端子も使えます。

映像／音声：映像信号／音声信号の流れる向き

音声を出力する 164

MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプに接続して、マルチチャンネル音声の番組を楽しめます。また、MDレコーダーなどに接続して、デジタル音声をデジタルのまま録音することもできます。➔ 42ページ「光デジタル音声出力の設定」

ビデオリモートコントローラーをつなぐ 212

ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を本機に接続すると、本機とビデオデッキなどの録画機器を連係させて録画予約をすることができます。

録画·再生のための接続(➔ 18〜20ページ)をしたうえで、ビデオリモートコントローラーを接続してください。

接続後、設定が必要です。➔ 41ページ「接続録画機器の設定」

・ 三洋製DVDレコーダーDZR-DS10、DZR-DH200には対応していません。また機器によっては動作しないものがあります。

ネットワークの接続

261 263

電話線

電話線を接続すると、デジタル放送の有料番組を購入したり、クイズやアンケートへの回答、ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加できます。

インターネット（アクトビラ）

本機をブロードバンドに接続すると、アクトビラを通じてテレビの画面でインターネットが楽しめます。
➔ **33**ページ

DLNA

本機はDLNAに対応しています。ご家庭のネットワークに本機を接続することで、ネットワーク上のDLNA DMS対応機器のデータを楽しめます。➔ **34**ページ

下の接続図は一例です。ご家庭のネットワーク環境に応じて変更してください。

電話回線
i.LINK入出力（DV端子とは接続不可）
S400D-VHS
LAN (10BASE-T/100BASE-TX)
光デジタル音声出力 AAC/PCM
地上デジタルアンテナ入力
HDMI 3
HDMI 2
HDMI 1

DLNA機器

電話機やファクシミリなど

パソコン

モジュラー分配コネクター

モジュラーコード

LANケーブル（ストレート）

LAN

WAN

ブロードバンドルーターやハブ

LANケーブル

LAN

ADSLモデム、VDSLモデム、ケーブルモデムなど

電話接続口へ

インターネットへ

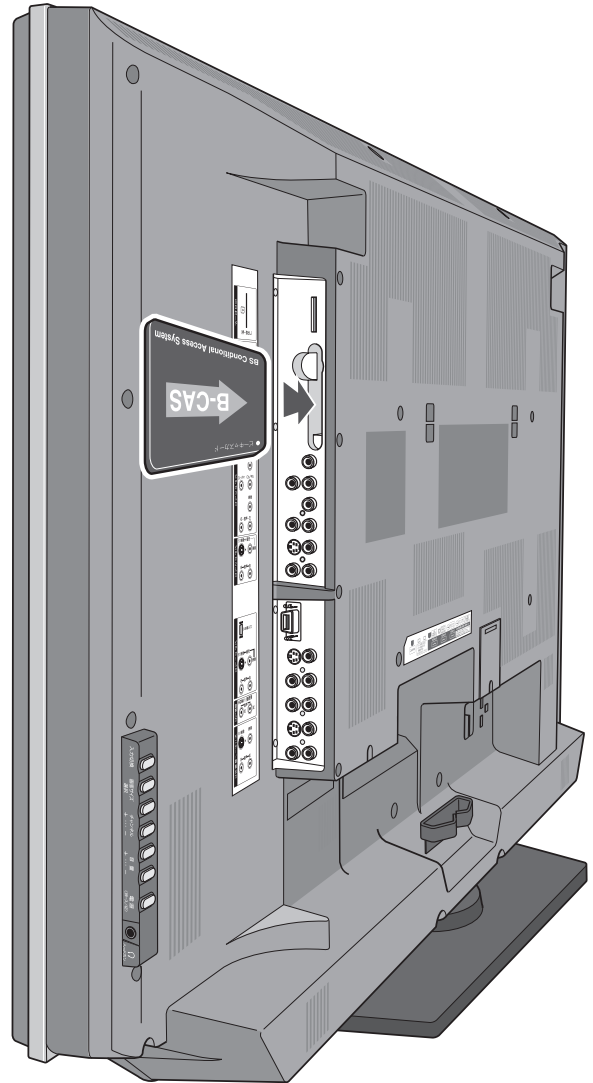
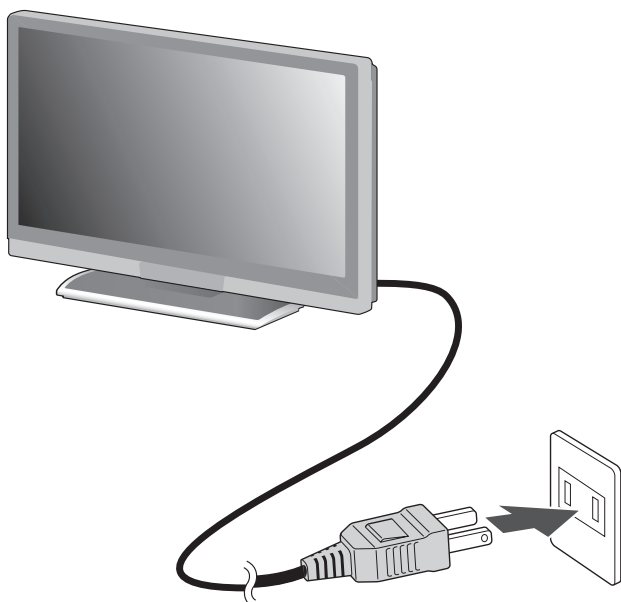
- ADSL回線のときはスプリッターを経由して電話接続口へ
- 光ファイバー回線（マンションタイプ）のときはインターネット網へ
- ケーブルテレビ回線のときは、インターネット用の同軸ケーブル配線についてご契約のケーブルテレビ運営会社にご確認ください。

B-CASカードを入れる

001

デジタル放送を楽しむにはB-CASカードが必要です。B-CASカードが本機に挿入されていないと、デジタル放送を受信できません。B-CASカードを本機に挿入したままでご使用ください。

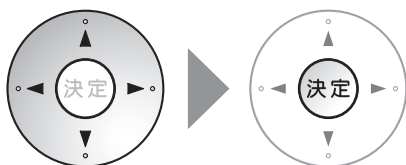
B-CASカードはこの製品に同梱されています。

- ご使用になる前に台紙裏面の使用許諾契約約款をよくお読みください。
- B-CASカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されたものです。破損・紛失などにより再発行を依頼されるときは再発行費用がかかります。B-CASカード（またはB-CASカードの台紙）に記載されたカスタマーセンターまでご連絡ください。

電源コードをつなぐ

電源を入れると「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。

➔ 次ページ

テレビ放送を見るための設定

お買い上げ設定ウィザード

初めて電源を入れると、「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。テレビ放送を見るために必要な設定を行いますので、画面の指示と音声案内に従って進めてください。

・ **戻るボタン**を押すとひとつ前の画面に戻れます。
・「簡単設定ウィザード」で同様の項目を設定できます。
➔ 37ページ

■ 地域設定

お住まいの地域を選びます。地上アナログ放送のチャンネルがこの設定に合わせて登録されます。

■ チャンネルスキャン（地上デジタル）

受信可能な地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して登録します。

■ アンテナの設定

衛星アンテナに電源を供給するかどうか設定します。

■ 郵便番号の設定

お住まいの地域の郵便番号を入力します。お住まいの地域に応じたデータ放送（天気予報など）を受信できるようになります。

■ 電話のテスト

電話回線が正しく通信できるかどうか確認します。

これで設定は終わりです。テレビ放送をお楽しみください。

うまく映らないときは

まったく映らない！

・ アンテナは正しくつながっていますか？
・ 放送に対応したアンテナやケーブル、分配器・分波器を使っていますか？
・ B-CASカードは入れましたか？➔ 23ページ

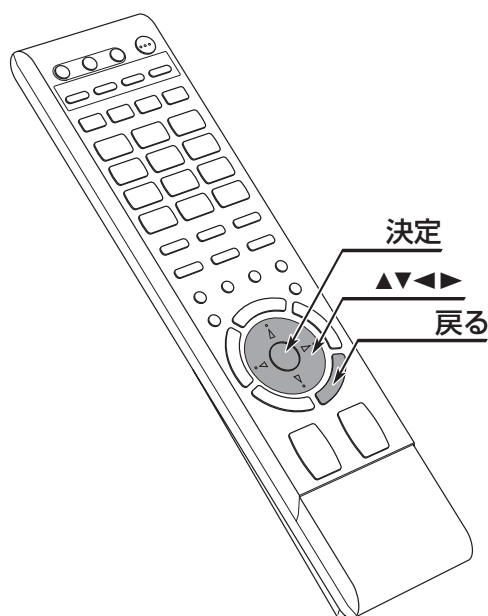
きれいに映らない！

・ アンテナケーブルの近くに、他の機器やケーブルがありませんか?
・ アンテナの向きは調整しましたか？
➔ 41ページ「アンテナの設定」で受信感度を確認できます。

外部機器が映らない！

・ 必要な接続がされていますか？
・ 正しい入力を選んでいますか？➔ 27ページ

画像の端が切れてる！

・ 故障ではありません。**画面サイズボタン**で表示される画面の大きさを選択してください。
➔ 27ページ

楽しむ

基本の操作

1 電源を入れる

電源/機能待機ランプが点灯します。

2 見たい放送に切り換える

- 地上アナログ放送を見る　— 地上 —　アナログ　デジタル
- 地上デジタル放送を見る　— 地上 —　アナログ　デジタル
- 衛星デジタル放送を見る　— 衛星 —　BS　CS

3 チャンネルを選ぶ

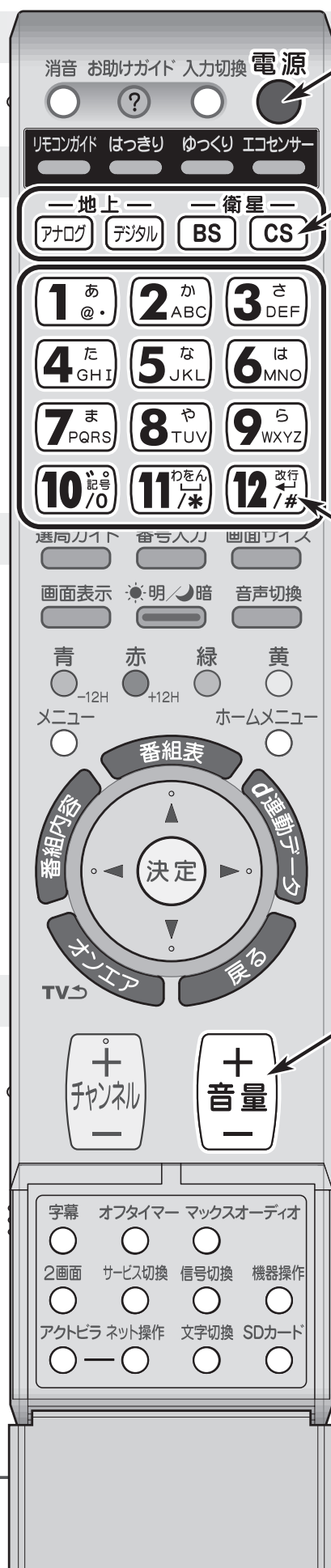
- ＋ チャンネル − でもチャンネルを変えられます。
- このほかにもチャンネルの選びかたがあります。➔ 右ページ

4 音量を調整する

急いで音を消すには

消音 を押す

もう一度押すと元の音量に戻ります。

- よく行う基本的な操作は、付属のサブリモコンでもできます。

チャンネルの選びかた

数字ボタンや**チャンネルボタン**を使う以外にもチャンネルを選ぶ方法があります。

3ケタのチャンネル番号で選ぶ 034

番号入力 を押す

数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を入力してください。

・ お住まいの地域によっては4ケタ目の枝番号を入力する必要があります。 037

選局ガイドで選ぶ 036

選局ガイド

を押す

見たいチャンネルに対応する**数字ボタン**を押してください。

選局ガイド		BS
101	102	103
1 NHK 1	2 NHK 2	3 NHK h
141	151	161
4	5 BS	6 BS-i
171	181	191
7 BSJ	8 BS FUJI	9 WOWOW
200	211	222
10 STAR	11 BS11	12 TwellV
		1/3ページ

番組表で見たい番組を選ぶ

➔ 30ページ

つないだ機器の映像・音声を楽しむ 165

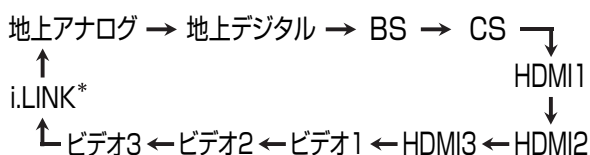
外部機器の映像を見るときは、機器をつないだ外部入力に切り換えます。

入力切換

を押す

入力切換
1 BS 103
2 HDMI1
3 HDMI2
4 HDMI3
5 ビデオ1
6 ビデオ2
7 ビデオ3
8 i.LINK*

・ ▲▼**ボタン**を押して入力を選んでください。
・ **入力切換ボタン**を押したあとに**数字ボタン**を押すと対応する入力を直接選べます。

・ 本体の**入力切換ボタン**を押すと、次のように入力が切り換わります。

*録画機器をi.LINKコードでつないでいるときに表示されます。

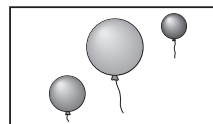
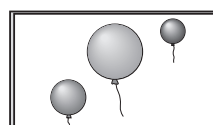
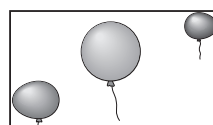
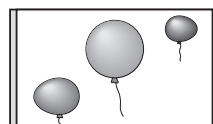
画面のサイズを変える

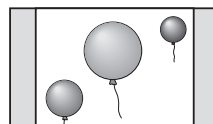
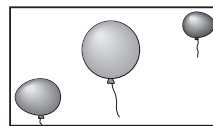
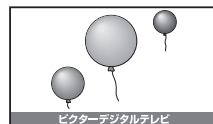
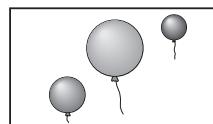
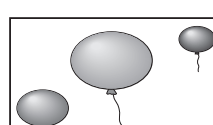
画面の端が切れたり、画面の周囲の黒い帯が気になるときは､表示される画面のサイズを変えます。

画面サイズ

を押す

デジタル放送(750p､1125i)のとき

フル
オリジナルサイズ(16:9)の映像を、画面いっぱいに見るとき

ピュアHD
1125iの映像を拡大せずに見るとき

パノラマズーム1
自然に拡大して見るとき

パノラマズーム2
自然に拡大して見るとき

地上アナログ放送やビデオ、デジタル放送（525i､525p)のとき

ノーマル
オリジナルサイズ(4:3)で見るとき

パノラマ
自然に拡大して見るとき

字幕パノラマ
字幕入りの映画番組を見るとき

シネマ
映画番組を見るとき

フル
オリジナルサイズ(4:3)の映像を、画面いっぱいに拡大して見るとき

・ 映像によっては黒い帯が残ったりすることがあります。

楽しむ
基本の操作

便利な機能

リモコンボタンでできる操作です。

テレビの使いかたを調べる

お助けガイド ?

わからない用語について調べたり、今使っている機能の解説ページを開いたりできます。➔ **6**ページ

リモコンボタンの機能を知る 230

リモコンガイド

ボタンの機能をテレビがしゃべってお知らせします。➔ 7ページ

音声を聞きやすくする

はっきり

はっきり
- 切り
- はっきり
- ひっそり

はっきり：アナウンサーの声やドラマの会話を聞こえやすい自然な音量にします。

ひっそり：音量を小さくしても人の声がはっきり聞こえます。

音声をゆっくりにする 114

ゆっくり

言葉と言葉の間を利用して速度を調節し、会話を自然で聞き取りやすくします。

ゆっくり
- 切り
- ゆっくり
- もっとゆっくり

字幕を表示する 025

字幕

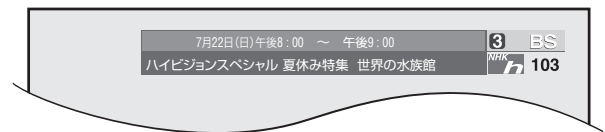
音声を切り換える 112

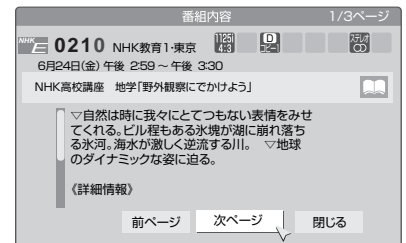
音声切換

ステレオ/モノラル、主/副音声がある番組で音声を切り換えます。

情報を見る

画面表示

番組の情報、または選んでいる接続機器の名前を画面の上部に表示します。

番組の内容を見る 038

番組表を見る 039

➔ **30**ページ

番組に連動したデータ放送を見る 049

放送画面に戻る 210

自動的に電源を切る 023

オフタイマー

ホームメニューを開く 423

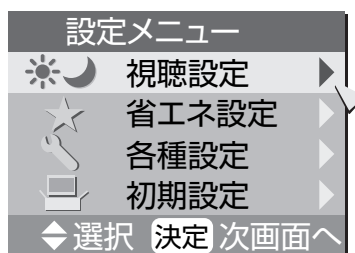
ホームメニュー

いろいろな操作の入り口となる「ホームメニュー」を開きます。

- テレビの使いかたを調べる➔ **4**ページ
- 番組を探す➔ **32**ページ
- 放送局からの情報を見る➔ **32**ページ

メニューを開く 400

メニュー

いろいろな設定をするためのメニューを開きます。➔ **37**ページ

音質を調節する 403

マックスオーディオ

音質の設定をするマックスオーディオメニューを呼び出します。➔ **39**ページ

映像と音声の組み合わせを選ぶ 082

明／暗

視聴環境に合わせて映像と音声の設定を選びます。➔ **38**ページ

画面の明るさを自動的に調節する 142

エコセンサー

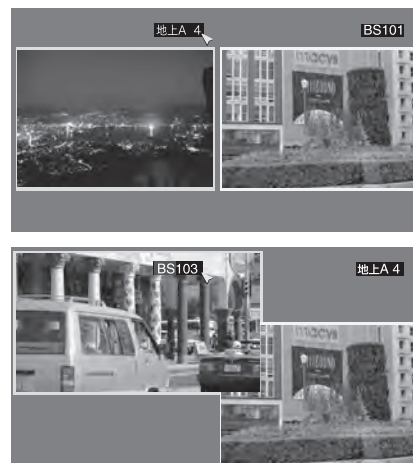
映像の明るさや部屋の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節します。

入り: オートピクチャーとE.E.センサーの両方がはたらきます。

ユーザー: オートピクチャーとE.E.センサーの現在の設定を適用します。（➔ **38**、**39**ページ）

２つの映像を同時に見る 040

2画面

異なる番組やビデオなどの映像を、2つの画面で同時に楽しめます。

デジタル放送（1125i、750p、525p）の映像をご覧のとき

- 同じチューナーのチャンネルを左右で見ることはできません。そのほかにも同時に見ることのできない映像の組み合わせがあります。

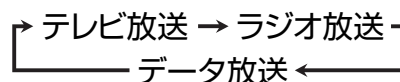
信号を切り換える 047

信号切換

デジタル放送には、マルチビューなど複数の映像を放送している番組や、複数の音声信号を放送している番組があります。このような番組で、映像と音声を切り換えます。

独立データ放送、ラジオ放送を楽しむ 046 042

サービス切換

テレビ放送 → ラジオ放送 → データ放送 →

つないだ機器を操作する 428

機器操作

本機に接続されたi.LINK機器またはDLNA機器を操作します。➔ **34**ページ

SDカードの画像を見る 119

SDカード

SDカードの画像一覧画面を開きます。➔ **35**ページ

楽しむ

便利な機能

番組表で番組を探す

どのチャンネルでいつ、どんな番組をやっているのか、テレビ画面で調べることができます。

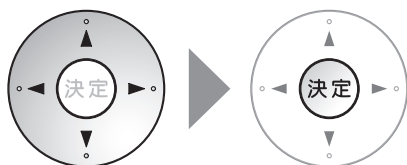
番組表を見る 039

を押す

番組表が画面に表示されます。

テレビ放送画面に戻る

を押す

番組を選ぶ

番組を選んで**決定ボタン**を押すと、その番組を見るか、録画することができます。 ➔ 右ページ

表示される時刻、日付を変える

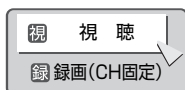
12時間前へ　12時間後へ

番組表を拡大、縮小する

拡大する　縮小する

番組表のデータ受信について

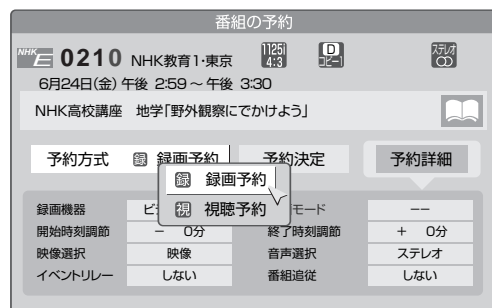
- 番組表は、BSデジタル放送のGガイドや、デジタル放送の電波で、1日数回配信されます。
  受信にはBS･110度CSデジタルアンテナ、地上デジタルアンテナの接続と設定が必要です。
- 地上アナログ放送の番組表は、BSデジタル放送のGガイドから配信されます。
  必ず、BS･110度CSデジタルアンテナの接続と設定が必要です。
  次回の配信時刻は、Gガイド受信確認(➔ **41**ページ)をご覧ください。

現在放送中の番組を選んだとき

視聴

選んだ番組に切り換わります。

録画(CH固定)

選んだ番組の信号をモニター／録画出力端子から出力します。

放送予定の番組を選んだとき

視聴予約

番組が始まる時刻にテレビの電源が入っていると、自動的にその番組に切り換わります。

録画予約

番組が始まる時刻になるとその番組の信号をモニター／録画出力端子から出力します。

楽しむ

番組表で番組を探す

番組を録画する 058 070

1 番組表で録画したい番組を選ぶ
2 「録画(CH固定)」または「録画予約」を選ぶ
3 予約方法を設定する

「予約詳細」から下記のような項目を設定できます。

4 「予約決定」を選ぶ

録画／録画予約について

i.LINKで録画機器を接続するか、ビデオリモートコントローラーを設定しておくと、録画機器側で自動的に録画が始まります。
それ以外の接続の場合は、録画機器側で録画／録画予約の操作をしてください。

「予約詳細」では以下のような項目を設定できます。

録画機器	ビデオ(連動)／DVD(連動)	ビデオリモートコントローラーを使って録画するとき。
	i.LINK D-VHS1／i.LINK HDR1／i.LINK BD1 など	i.LINK機器で録画するとき。
	非連動	ビデオリモートコントローラーが使えないとき。
録画モード	デジタル、標準、3倍	
開始時刻調節	番組が始まる前から予約を始められます。最長5分前まで修正できます。	
終了時刻調節	番組が終了した後まで予約を続けられます。最長1時間後まで修正できます。	
映像選択	映像信号が複数あるときに設定できます。	
音声選択	音声信号が複数あるときに設定できます。	
イベントリレー	予約した番組が、別のチャンネルで延長されるときに、つづけて予約を実行します。(放送局からの情報があるときのみ)	
番組追従	放送時間の変更に合わせて、予約の開始時刻から最大3時間までの遅れに対応します。イベントリレーは行いません。	

予約内容の確認、修正をする

「ホームメニュー」から「予約一覧」を選んでください。

日時とチャンネルを指定して予約する

「ホームメニュー」から「日時指定で予約」を選んでください。

番組を検索する

021 026 027

番組表情報をもとに、ジャンルや出演者の名前から番組を探すことができます。

1 ホームメニュー ◯ を押す

2 条件を指定して、番組を検索します。

見つかった番組は、番組表から選んだときと同様に、視聴、録画、視聴予約、録画予約ができます。

ホームメニューで情報を確認する

ホームメニュー ◯ を押す

トピックス		放送局から送られてくる情報トピックスを見ることができます。
メール		放送局から送られてくる情報や、本機の機能向上を行うダウンロード情報などを確認します。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。
情報		
	CS1ボード CS2ボード	110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や、ご案内などを確認できます。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。
	購入履歴	購入した有料番組の放送日や番組名、金額などの履歴を確認することができます。

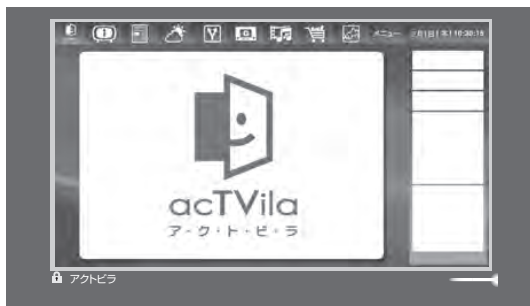
インターネットを楽しむ — アクトビラ

アクトビラとは

本機をブロードバンドに接続すれば、テレビをもっと楽しむための情報や、TVをもっと使いたくなるサービスが無料でお使いいただけます。
リモコンだけの簡単な操作で、安心安全なサービスを手軽にお楽しみいただけます。
事前にブロードバンドへの接続と設定が必要です。
➔ 22ページ

アクトビラを始める 195

1 アクトビラ ◯ を押す

アクトビラのポータルサイトが表示されます。

2 ▲▼◀▶ボタンと決定ボタンで見たい項目を選ぶ

アクトビラを終了する

を押す

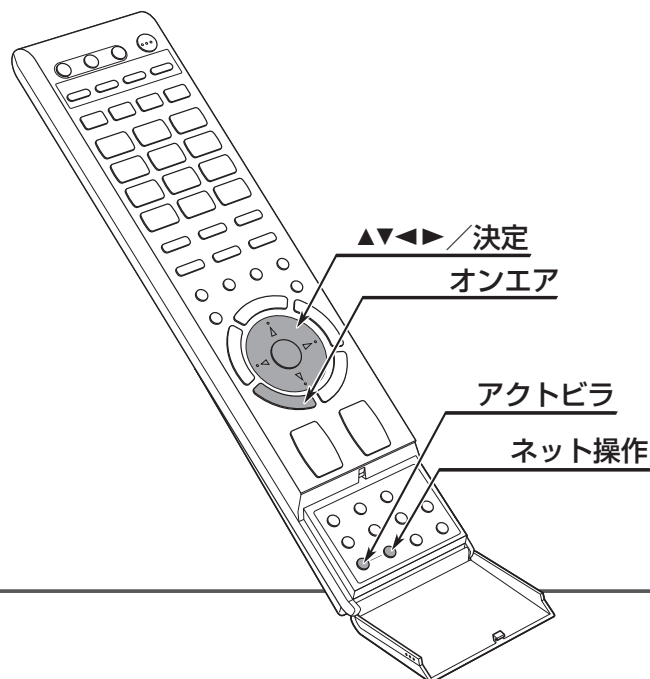
インターネットの操作 191

ネット操作 を押す

画面の下部に操作パネルが表示されます。

戻る	1つ前のページに戻ります。
進む	1つ先のページに進みます。
中止	読み込みを中止します。
更新	表示中のページを再読み込みします。
ホーム	ポータルサイトへ戻ります。
お好み	お好みに登録したページを表示します。お好きなホームページを登録して、簡単に呼び出せます。
ツール	アドレス入力、データの保存·再生、画面メモの機能を使います。
ヘルプ	ネット操作のヘルプを表示します。

操作パネルを閉じる

もう一度 ネット操作 ◯ を押す

DLNA機器のデータを再生する

ネットワーク上のDLNA機器のデータを本機で楽しむことができます。本機は動画と静止画の再生に対応しています。

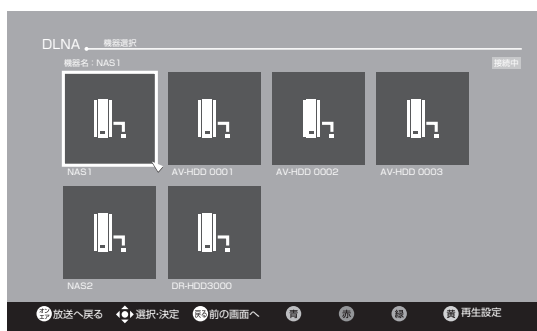
事前にご家庭のネットワークへの接続が必要です。

➔ 22ページ

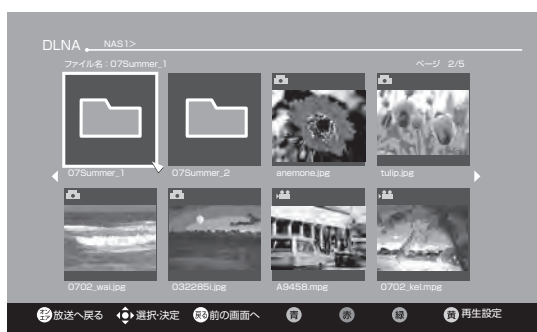
ファイルを選んで再生する 248

1 機器操作 ◯ を押す

2 「DLNA機器」を選ぶ

接続している機器の一覧が表示されます。

- 地上アナログ放送の受信中は表示されません。デジタル放送に切り換えてください。

3 ▲▼◀▶ボタンと決定ボタンで機器を選ぶ

選んでいる機器のフォルダ・ファイルの一覧が表示されます。

4 ▲▼◀▶ボタンと決定ボタンでフォルダをたどり、再生したいファイルを選ぶ

選んだファイルの再生が始まります。

再生方法を設定する

機器一覧画面またはフォルダ・ファイル一覧画面で 黄 ◯ を押す

スライドショーの再生間隔、再生する音声、サムネイルの表示方式が設定できます。

テレビからDLNA機器を操作する 249

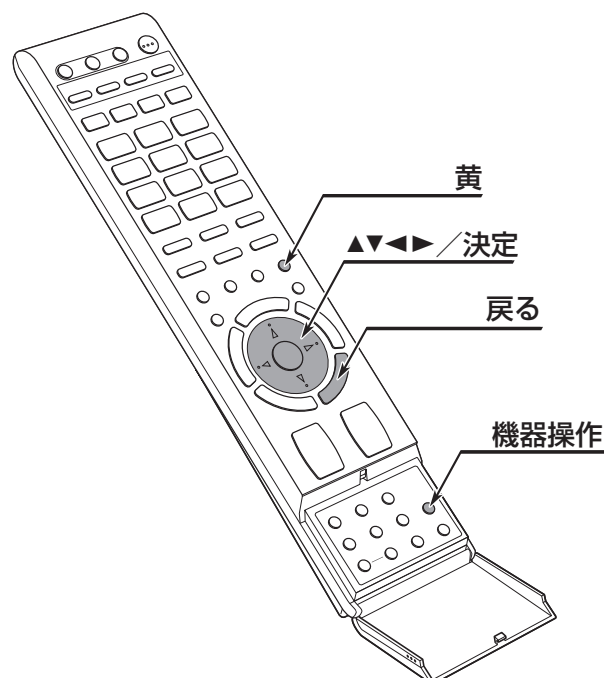
ファイルの再生中に 機器操作 ◯ を押す

操作パネルが表示されます。

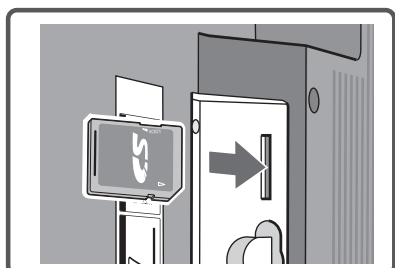
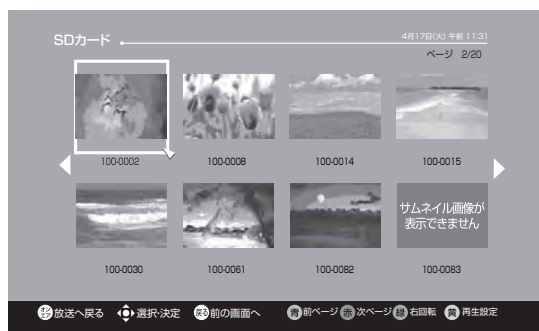
▲▼◀▶ボタンでボタンを選び、**決定ボタン**を押してください。

カラーボタンでも操作できます。

再生を終了する

を押す

SDカードの画像を見る

SDカードに記録したデジタルカメラの静止画像を再生できます。

SDカードを入れる

画像の一覧が表示されます。

テレビ画面に戻るには

を押す

再び画像一覧を見るには

SDカード
◯ を押す

SDカードを抜くには

SDカードを指で押し込む

一枚ずつ見る 119

画像一覧画面で見たい画像を選び、(決定)を押す

選んだ画像が大きく表示されます。

◄►ボタンで前後の画像を見ることができます。

一覧表示に戻るには

を押す

連続して見る 120

1 画像一覧画面で 黄◯ を押す

再生間隔の設定画面が開きます。

2 再生時間を選ぶ

3 画像を選んで (決定) を押す

その画像から順に連続して画像が表示されます。

再生を一時停止するには

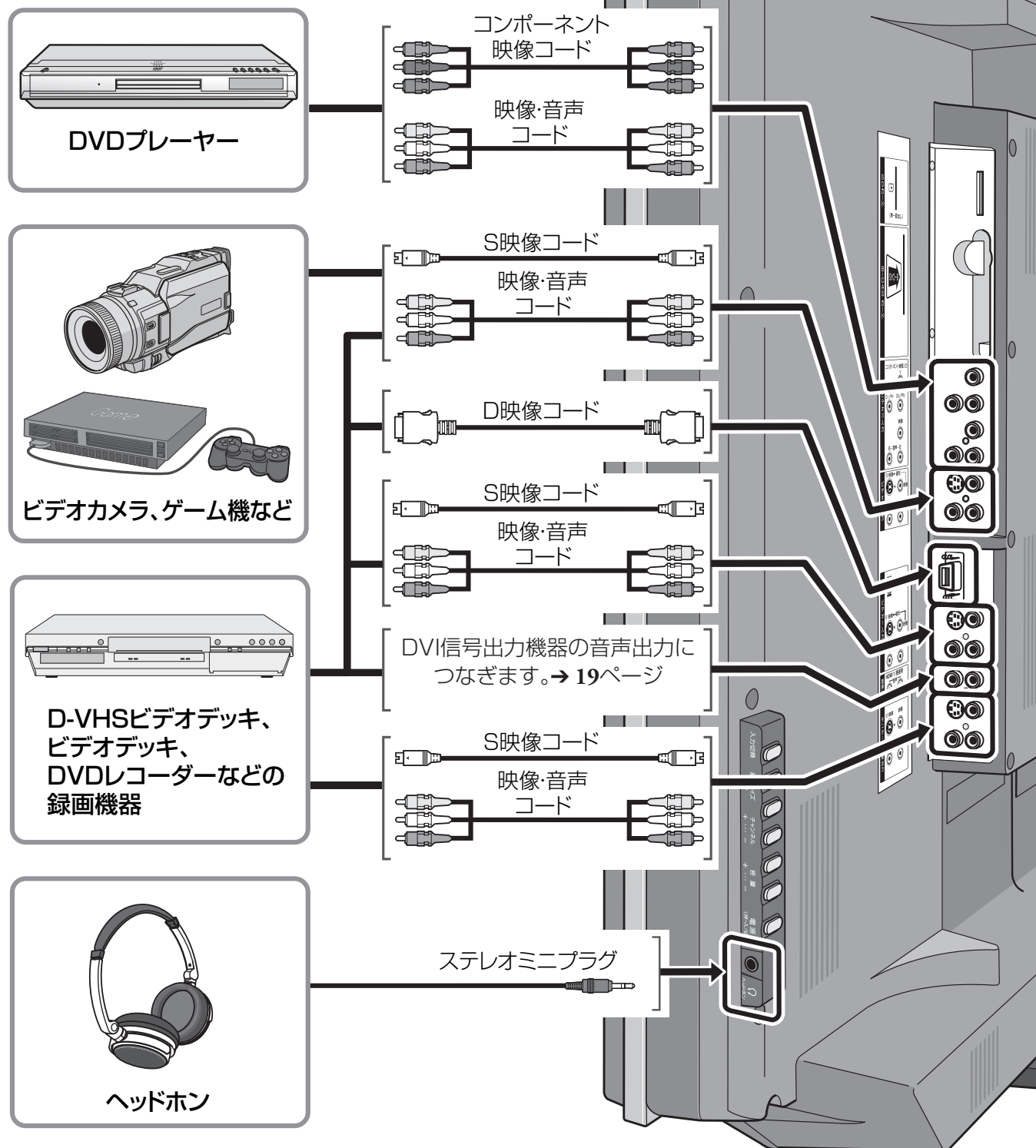
を押す

もう一度押すと再生が再開されます。

楽しむ

DLNA機器のデータを再生する／SDカードの画像を見る

接続一覧

接続のあと、対応する入力を選んでください。➔ **27**ページ

メニュー操作

メニュー
○ を押す

設定メニューが開きます。

設定メニュー
- 視聴設定
- 省エネ設定
- 各種設定
- 初期設定

◆選択 決定 次画面へ

視聴設定 → 38ページ 402

視聴設定
- 明／暗選択 | ダイナミック
- 映像調節
- マックスオーディオ
- マックスオーディオの効果 | 切り 入り

◆選択 決定 調節画面へ 戻る 前画面へ メニュー 終了

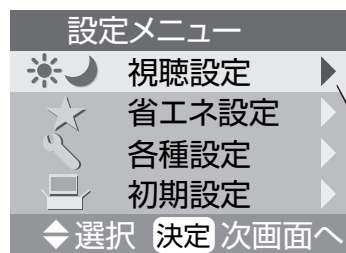
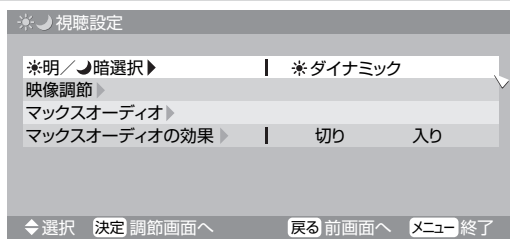
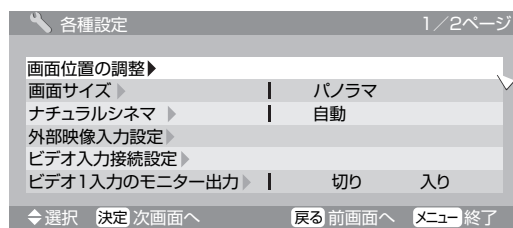
省エネ設定 → 39ページ 404

省エネ設定
- E.Eセンサー | 入り
- 無信号電源オートオフ | 切り 入り
- テレビ消し忘れ防止設定 | 切り 入り
- エコセンサーの効果表示 | 切り 入り

◆選択 決定 次画面へ 戻る 前画面へ メニュー 終了

各種設定 → 40ページ 405

各種設定 1／2ページ
- 画面位置の調整
- 画面サイズ | パノラマ
- ナチュラルシネマ | 自動
- 外部映像入力設定
- ビデオ入力接続設定
- ビデオ1入力のモニター出力 | 切り 入り

◆選択 決定 次画面へ 戻る 前画面へ メニュー 終了

各メニュー画面内では、▲▼◀▶ボタンで項目を選択し、決定ボタンで設定を選んでください。

初期設定 → 40ページ 408

初期設定 聞き直しは リモコンガイド ボタンを押してください 4月10日(火) 午後 5:00

簡単設定ウィザード（音声案内） / 地上デジタル / デジタル放送共通 / 地上アナログ / BS／CSデジタル / ネットワーク

正しくお使いいただくために各種設定を行います

簡単設定ウィザード → 24ページ	受信に必要な設定を自動で行います。
地上アナログ	地上アナログ放送の設定をします。
地上デジタル	地上デジタル放送の設定をします。
BS/CSデジタル	BS/CSデジタル放送の設定をします。
デジタル放送共通	本機に接続した機器に関する設定や安心してご使用いただくための設定をします。
ネットワーク	アクトビラやデータ放送を使うための設定をします。

メニューを消すには

メニュー
○ を押す

メニュー
▲▼◀▶／決定

操作の詳しい説明は「お助けガイド」をご覧ください。

000 の使いかた→ 7ページ

視聴設定 ☀☾ 402

☀明／☾暗選択	視聴環境にあった映像と音声の組み合わせを選ぶことができます。	☀テレビ、☀シネマ、☾シアタークール、☾シアターウォーム、☀ダイナミック

映像調節　「☀明／☾暗選択」の現在の設定について以下のような映像の調節ができます。

ピクチャー	明るさ、色の濃さを決めます。	薄く ↔ 濃く
黒レベル	見やすい明るさにします。	暗く ↔ 明るく
色あい	お好みの肌色に調節します。	赤っぽく ↔ 緑っぽく
色の濃さ	発色を調節します。	薄く ↔ 濃く
シャープネス	好みの輪郭にします。「☀明／☾暗選択」が「☾シアターウォーム」のときははたらきません。	やわらか ↔ くっきり
バックライト	画面の明るさを調節します。	暗く ↔ 明るく
オートピクチャー	画面全体の明るさが、映像にあわせて目にやさしい明るさに自動的に調節されます。「☀明／☾暗選択」が「☀ダイナミック」のときは働きません。	切り、入り
インテリジェントガンマ	明るい映像も暗い映像も、質感を保ちながら鮮やかに再現します。	切り、入り
ノイズクリア	画面のざらつきが少なくなるように調節します。	切り、弱い、強い、自動
MPEG NR	MPEG画像のノイズ(モスキートノイズ、デジタル入力時のブロックノイズ)を減らします。	切り、入り
DCC(DETカラークリエーション)	くすんだ色を自然な色調に補正します。	標準、弱い
色温度	画面の色調を選びます。	高い色温度(青が強い)、低い色温度(赤が強い)
シアタープロ設定	さらに細かい映像の調節をします。「☀明／☾暗選択」が「☾シアターウォーム」のときのみ調節できます。	

DSDエッジ	映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。	−(輪郭をつけない) ↔ ＋(輪郭をつける)
Hシャープネス Vシャープネス	輪郭を強調してはっきりとした映像にします。(交互に調節)	−(輪郭を強調しない) ↔ ＋(輪郭を強調する)
DSDコアリング	画面のざらざら感(ノイズ)を抑えます。	−(あまりノイズを除去しない) ↔ ＋(よりノイズを除去する)
色温度 赤 色温度 青 色温度 緑	画面全体の色(赤味、青味、緑味)を交互に調節します。	−(赤を弱くする) ↔ ＋(赤を強くする) −(青を弱くする) ↔ ＋(青を強くする) −(緑を弱くする) ↔ ＋(緑を強くする)
色バランス	肌色以外の色が自然な色になるように青みを調節します。	−(青みを弱くする) ↔ ＋(青みを強くする)

	DCCが「標準」のときは、DETカラークリエーションでさらに細かく設定できます。	
	DCC赤色・黄色・緑色・水色色選択	DCCで補正する色を選びます。
	DCC赤色・黄色・緑色・水色色あい	「DCC色選択」で指定した色の色あいを調節します。
	DCC赤色・黄色・緑色・水色色の濃さ	「DCC色選択」で指定した色の濃さを調節します。
	明部:色の濃さ	黄色や緑色などの明るさ成分の高い色の濃さを調節します。
	暗部:色の濃さ	赤色や青色などの明るさ成分の低い色の濃さを調節します。
	シアタープロ設定を標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。
映像調節を標準に戻す	「☀明／☾暗選択」で選んでいる画質を、お買い上げ時の設定に戻します。	

マックスオーディオ 「☀明／☾暗選択」の現在の設定について以下のような音質の調節ができます。		
マックスベース	低音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
マックストレブル	高音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
マックスステレオ	臨場感を調節します。	音場を弱める ↔ 音場を強める
マックスボリューム	音量のばらつきを低減します。	切り、入り
バランス	左右の音量を調節します。	左側が大きく ↔ 右側が大きく
標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。	

マックスオーディオの効果	マックスオーディオの機能を使うかどうかを設定します。	切り、入り

省エネ設定 404

E.E.センサー	部屋の明るさに合わせて、画面の明るさが自動的に調節されます。	切り、入り
無信号電源オートオフ	放送終了後やビデオの再生終了後、約4分経過すると自動的に電源が切れるように設定します。デジタル放送をご覧のときは働きません。	切り、入り
テレビ消し忘れ防止設定	何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定します。	切り、入り
エコセンサーの効果表示	オートピクチャー（➔ **38**ページ）とE.E.センサーの効果のレベルを星マークでテレビ画面に表示します。（➔ **29**ページ）	切り、入り

楽しむ
メニュー操作

各種設定

405

画面位置の調整	画面の上下左右の位置を調節します。	▲▼◀▶**ボタン**で調節する
画面サイズ	映像を表示する画面サイズを選びます。(➔ 27ページ)	フル、ピュアHD、パノラマズーム1、パノラマズーム2、ノーマル、パノラマ、字幕パノラマ、シネマ
ナチュラルシネマ	フィルム撮影された映画などを、動きの速いところもぼんやり感のない映像で表示します。	切り、入り、自動
外部映像入力設定	外部入力端子につないだ機器の入力表示を設定します。	
設定する入力	設定を変更する外部入力名を選びます。	ビデオ1〜3、HDMI1〜3
画面の表示	画面に表示される外部入力名を選びます。	ビデオ1〜3、HDMI1〜3、VTR、DVD、DVR1、DVR2、HDR、ムービー、CSデジタル、ゲーム
入力スキップ設定	リモコンの**入力切換ボタン**でその外部入力を選べるようにするかしないかを設定します。	見る、見ない
ビデオ入力接続設定	i.LINKまたはHDMIで接続した機器の入力設定をします。	
i.LINK自動切換	i.LINK機器で再生を始めたとき、入力を自動的にi.LINKに切り換えるかどうか設定します。	しない、する
HDMI音声入力	HDMI接続した機器の音声信号の種類を選びます。	デジタル、アナログ、自動
HDMI入力VGA判別	HDMI接続した機器の画面サイズを自動で判別するかVGAに固定するかを設定します。	自動、VGA
ビデオ1入力のモニター出力	ビデオ1入力の映像が乱れるときに、ビデオ1入力端子からの信号をモニター出力しないように設定します。	切り、入り
HD自動切換設定	1125iの映像を表示する画面サイズを設定します。	フル、ピュアHD
倍速120コマ	倍速120コマ（残像を低減して画像をくっきりさせます）のデモを設定します。	デモ解除、デモ設定

初期設定

408

■ 地上アナログ

地域チャンネル合わせ	お住まいの地域で受信できるチャンネルを自動的に探して設定します。	
チャンネルの設定	1〜12の**数字ボタン**ごとに、見るチャンネルを設定します。	
見るチャンネル	**数字ボタン**を押したときに受信するチャンネルを設定します。	1〜62、C13〜C38
画面の表示	選局時の画面表示の設定をします。	1〜62、C13〜C38
+ーボタン選局	空きチャンネルを**チャンネル+/ーボタン**で選べないようにする設定（チャンネルスキップ）をします。	見る、スキップ
受像微調整画面へ	映像がもっともきれいになるように調整します。	
CATV選局方式の設定	CATVをご覧になるときに設定します。チャンネル番号を直接入力して選局できます。	12ボタン方式、数字入力方式

CATVチャンネルの設定変更	CATVのチャンネル設定を変更します。選局方式で、「数字入力方式」を選んでいるときに設定します。	「設定するチャンネル」、「＋－ボタン選局」、「受像微調整画面へ」
放送局名設定	番組表を表示するために、放送局名を設定します。	

■ 地上デジタル

地域設定	お住まいの地域の情報を受信するための設定をします。
チャンネルスキャン	お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して設定します。引っ越したとき、新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変わったときに行ないます。
チャンネルの設定	**数字ボタン**で選べる受信チャンネルを変更したり、空きチャンネルに受信できるチャンネルを割り当てたりすることができます。
アンテナの設定	地上デジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。良好に受信するための受信レベルの目安は50以上です。目安値以下の場合でも、お客様の環境で数値が最大になるようにアンテナの向きを調整してください。

■ BS/CSデジタル

アンテナの設定		衛星アンテナへの電源供給をするかしないかを設定します。BS/CSデジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。良好に受信するための受信レベルの目安は45以上です。目安値以下の場合でも、お客様の環境で数値が最大になるようにアンテナの向きを調整してください。	する(個別)、しない(共聴)
番組表の設定		番組表を受信するための放送局を設定します。	
	受信チャンネル	番組表を受信する放送局が表示されます。	
	Gガイド受信地域の設定	お住まいの地域に合わせて、番組表に表示する放送局を設定します。	
	Gガイド受信確認	番組データを受信する時刻を確認できます。BS・110度CSデジタルアンテナが接続されていないとデータが受信できません。	
BS選局ガイドチャンネルの設定 CS選局ガイドチャンネルの設定		リモコンの**数字ボタン**で選局できる衛星デジタル放送のチャンネルを設定します。	登録したいリモコン番号と、登録するチャンネル番号を▲▼◀▶**ボタン**で選んで設定する
衛星情報の設定		デジタル放送局から電波を受信するための設定をします。	BS:15、CS1:2、CS2:4 通常は変更しないでください

■ デジタル放送共通

年齢による視聴制限の設定	年齢による視聴制限を設定します。 視聴年齢を設定すると、制限の対象になる番組は、暗証番号を入力しない限り視聴することはできません。	1歳 ～19歳、制限なし
接続録画機器の設定	ビデオリモートコントローラーで録画機器を操作するための設定をします。	
お知らせ音の設定	お知らせ音の音量を設定します。	なし、あり:音量小、あり:音量大
暗証番号の設定	視聴制限を設定・解除するための暗証番号を登録・変更します。	4ケタの暗証番号を入力する
B-CASカード番号の表示	カスタマーセンターへ問い合わせる際など、B-CASカードの番号などを調べる必要があるときに、B-CASカードの情報を確認できます。	
自動ダウンロードの設定	機能の追加やサービスへの対応のためのプログラムのダウンロードを自動で行うかどうかを設定します。	する、しない

項目		説明	設定
録画映像の設定		本機の映像出力から出力される映像信号のサイズを設定します。	テレビ用、ワイドテレビ用
光デジタル音声出力の設定		接続している機器に合わせて、光デジタル音声信号の種類を設定します。	2CH リニアPCM、AAC
文字スーパーの設定		速報ニュースなどを表示するための文字スーパー表示の有無や、表示言語を選びます。	日本語で表示、英語で表示、表示しない
県域の設定		お住まいの都道府県を設定します。	表示される都道府県名から選ぶ
郵便番号の設定		郵便番号を設定します。	**数字ボタン**で郵便番号を入力する
電話の設定		電話回線の接続に関する設定をします。	
	電話回線の種類	電話回線の種類を設定します。(通常は「自動」に設定します)	自動、ダイヤル回線(10PPS)、ダイヤル回線(20PPS)、プッシュ回線
	外線発信番号の設定	外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときに設定します。	外線発信番号を入力して設定する
	ダイヤルポーズの設定	外線発信番号を出力後の、休止時間挿入を設定します。	する、しない
	ダイヤルトーン検出の設定	電話の発信時の、ダイヤルトーン検出を設定します。	する、しない
	B-CASセンター接続の設定	B-CASカード情報や有料番組購入情報などの、センターへの自動送信を設定します。	自動、切り
	番号通知の設定	電話番号の通知を設定します。	なし、通知する、通知しない
	電話会社の設定	接続する電話会社を設定します。	マイラインプラスの加入、電話会社の番号を設定する
	電話のテスト	電話回線が正しく設定されているかテストします。	
	終了	電話の設定を終了します。	
起動優先の設定		起動時間が短くなる設定をします。	切り、入り
HDMI機器制御設定		HDMI CECを使うかどうか設定します。(➔ 49ページ)	制御する、制御しない
設定のリセット		各種調整･設定値を工場出荷時の設定に戻します。また、個人情報を消去します。	
	設定項目リセット	各種調整･設定値を工場出荷状態に戻します。	
	個人情報消去	本機を初期化して、本機に記録されている視聴履歴などの個人情報をすべて消します。	

■ ネットワーク

項目		説明	設定
接続設定		ネットワークへの接続に関する設定や、ネットワークの接続テストをします。	
	IPアドレスの自動取得	IPアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得」を選んでください。	
	DNSアドレスの自動取得	DNSアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得」を選んでください。	
	プロキシサーバーの設定	プロキシサーバーを使用するかどうか設定します。プロバイダーから指定があったときのみ、設定をしてください。	
文字入力方式の設定		アクトビラでの文字の入力方式を設定します。	キーボード方式、携帯電話方式

知る

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは故障ではありません

■ 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。

■ 静止画を表示し続けたときに、画面に残像が生じることがあります。残像はしばらくすると消えます。

■ 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ心配ありません。

・ ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
・ 本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
・ 本機から「ミシッ」という音がする場合。
・ 本体の内部から動作音が聞こえる場合。

■ 本機が正常に操作できなくなった場合は、次の操作を行なってください。

1 本体の**チャンネルー（マイナス）ボタン**と**入力切換ボタン**を同時に5秒以上押し続ける。
　電源が切れ、電源/機能待機ランプが消えます。
2 本体の**電源ボタン**を押して電源を入れ直す。
※電源/機能待機ランプが赤く点灯しているときは、この操作はできません。

放送の受信

地上アナログ放送が映らない	取扱説明書	お助けガイド
アンテナをUHF/VHFアンテナ入力端子に正しく接続する。	16	260
チャンネル設定を正しく設定する。	40	411
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	40	013

地上アナログ放送のチャンネルが番組表に表示されない		
「地上アナログ」設定で「放送局名設定」を正しく設定する。 ・番組表には「地域設定」で選んでいる地域の地上アナログチャンネルが表示されます。地域の境界では番組表には表示されないチャンネルがある場合があります。	40	015

CATVが映らない		
受信契約をする。	–	–
ケーブルを正しく接続する。	–	–
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	40	413
「CATV選局方式の設定」を「数字入力方式」にする。 ・「CATV選局方式の設定」が「12ボタン方式」の場合、CATVのチャンネル(C13～C38)は**チャンネル+/－ボタン**では選べません。	40	005

地上デジタル放送が映らない	取扱説明書	お助けガイド
アンテナを地上デジタルアンテナ入力に正しく接続する。	16	260
正しい向きでB-CASカードを入れる。	23	001
簡単設定ウィザードを実行する。	24	004
受信レベルを確認する。	41	006
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	–	–

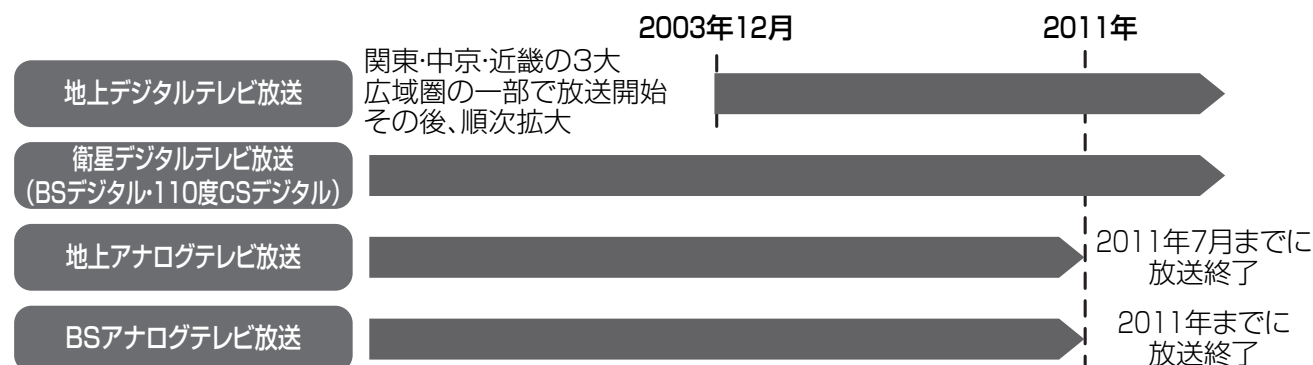
衛星デジタル放送が映らない		
受信契約をする。	–	–
アンテナをBS･110度CSアンテナ入力端子に正しく接続する。	16	260
正しい向きでB-CASカードを入れる。	23	001
簡単設定ウィザードを実行する。	24	004
衛星アンテナへの電源供給を正しく設定する。	41	002
アンテナの前方にある障害物を取り除く。 ・大雨や雪が降っている場合でも、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。	–	–
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	–	–

取扱説明書アイコン：この取扱説明書のページ番号
お助けガイドアイコン：お助けガイドのページ番号

知る

故障かな？と思ったら

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

データ放送の一部を見ることができない		
「ネットワーク」の設定を確認してください。	42	192

画面表示/映像

画面が乱れる／映像に縦線や横線が出る		
アンテナケーブルを他の機器やケーブルから離してください。	–	–

画面表示が消えない		
受信できるチャンネルを選ぶ。	26	032 034 035 036
外部機器の映像を再生する。 ・入力信号がないときに画面表示を消すことはできません。	27	165

メニュー操作時などにオンエアボタンを押すと、外部入力の映像ではなく、テレビ放送に切り換わる		
メニュー画面や設定画面が消えるまで、**戻るボタン**をくり返し押す。 ・**オンエアボタン**を押した場合は、**入力切換ボタン**を押して見たい外部入力を選んでください。	37	–

設定画面や操作画面が表示できない		
予約録画を終了する。 ・予約録画の実行中は、正しく録画できるように、設定画面の表示やその他の操作が制限されます。	31	070

「高速液晶」のデモが自動的にはじまる		
「倍速120コマ」の設定を「デモ解除」にする。	40	279

2画面にならない		
下記の場合は2画面にはできません。 ・左右の画面にデジタル放送の映像を映そうとした場合。 ・左右の画面に同じチャンネルや外部入力の映像を映そうとした場合。 ・予約録画の実行中。	29	040

色が出ない、おかしい		
地上アナログ放送の場合は、「チャンネルの設定」で受信周波数を微調整する。	40	007
映像調節メニューで「色あい」や「色の濃さ」を調節する。	38	074

接続したAV機器からの映像が出ない		
正しい外部入力を選ぶ。	27	165
AV機器を正しく接続する。	18–20	158 245 256 170 167 171 159
AV機器の電源を入れ、映像を再生する。	–	–
i.LINK機器の場合、接続機器を正しく選択する。	–	428
i.LINK機器の場合、「起動優先の設定」を「入り」に設定する。	42	162
D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	–	–

雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)		
屋外のアンテナ線をつなぎ直す。	16	260
アンテナの向きを直す。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–	–

画面にはん点が出る(妨害)		
ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–	–

画面にしま模様が出る(混信)		
無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–	–

(取扱説明書アイコン)	この取扱説明書のページ番号
(お助けガイドアイコン)	お助けガイドのページ番号

録画予約

予約録画ができない		
録画機器の入力を正しく切り換える。	–	–
録画予約を正しく設定する。	31	070
録画可能な番組を予約する。	–	216 221
ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を正しく接続・設置・設定する。	21 41	247
本機に対応しているi.LINK機器を接続する。	–	–
i.LINK機器を正しく接続・設定する。	18	159 246
録画機器が選べない		
「接続録画機器の設定」を正しく設定する。	41	163
「i.LINK接続機器選択」を正しく設定する。	–	428
機器操作でi.LINK機器を操作できない		
あまり多くのi.LINK機器を同時に接続しない。	–	–
予約録画が終了してから操作する。	–	–
i.LINK機器の電源プラグはいつも差し込んだままにする。	–	–
i.LINKケーブルを抜き差しする。	–	–

音声

音が出ない		
ヘッドホン端子からヘッドホンを抜く。	36	–
消音ボタンを押す。	26	019
音声が重なって聞こえる		
二重音声放送の音声を「主音声」または、「副音声」に切り換える。	28	112
映像の動きと音声が合わない		
「ゆっくりトーク」を「切り」に設定する。	28	114
音声が切り換えられない		
下記の場合は音声を切り換えられません。 ・地上アナログ放送で、モノラル放送やステレオ放送の場合。 ・デジタル放送で、音声多重や複数の音声信号がない番組の場合。 ・外部入力の映像の場合。 ・「ゆっくりトーク」を「ゆっくり」または「もっとゆっくり」に設定している場合。	–	–

接続したAV機器からの音声が出ない		
正しい外部入力を選ぶ。	27	165
AV機器を正しく接続する。	18–20	158 245 256 170 167 171 159
AV機器の電源を入れる。	–	–
アンプの音量を0以外または消音以外にする。	–	–
i.LINK機器の場合、接続機器を正しく選択する。	–	428
i.LINK機器の場合、「起動優先の設定」を「入り」に設定する。	42	162
D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	–	–
HDMI接続の場合、「ビデオ入力接続設定」を正しく設定する。	40	174 175
・HDMI端子の音声入力、またはDVI音声端子からの入力信号はモニター/録画出力端子からは出力されません。	–	229
・本機のHDMI入力端子はドルビーデジタル方式の音声信号には対応していません。お使いの出力機器側の設定を「PCM」に設定してください。(ドルビーデジタル方式の信号はLAN端子経由のDLNA機器からの信号にのみ対応しています。)	–	–
音声が、接続していないスピーカーから聞こえる		
ビデオ入力の音声コードを正しく接続してください。	20	158 171 170 167

この取扱説明書のページ番号
お助けガイドのページ番号

ネットワーク

インターネットに接続できない		
ネットワーク(LANの設定、ブラウザの設定)を正しく設定する。	42	192
ブロードバンド環境でインターネットに接続する。	–	–
ブロードバンドルーターやハブ、ADSLモデムなどの設定を確認する。	–	–

その他

チャンネルを選ぶときの動作がおかしい		
CATVをご覧にならないときは「CATV選局方式の設定」を「12ボタン方式」にする。 ・「数字入力方式」に設定されている場合、**数字ボタン**で直接選局することはできません。	40	005

衛星デジタル放送の投票や申し込みができなくなった		
電話回線の接続や設定を確認する。	22 42	261 417

電源を「切」にしたのに電源/機能待機ランプが赤く点灯している		
下記の場合は電源/機能待機ランプが赤く点灯します。 ・録画予約の実行中や番組表のデータを取得しているなどの場合。 ・「起動優先の設定」を「入り」に設定している場合。	15 42	258 162

録画予約が終わったのに電源/機能待機ランプが赤く点灯している		
終了処理のため、数分間赤く点灯する場合があります。	15	258

SDカードの画像が再生できない		
本機で再生できる画像データを記録する。	–	119
予約録画の実行中はSDカードの再生はできません。	–	–

外部入力が選べない		
「外部映像入力設定」の「入力スキップ設定」を「見る」に設定する。	40	169
i.LINK接続した機器の映像を見る場合、「i.LINK接続機器選択」を正しく設定する。	–	428
「i.LINK自動切換」が、選んでいる入力に設定されていないことを確認する。	40	161

HDMI CEC対応機器の動作がおかしい		
「HDMI機器制御設定」を「制御しない」にする。 ・本機のHDMI CECによる動作は、すべてのHDMI CEC対応機器に対して保証するものではありません。	42	280

突然電源が切れた		
オフタイマーか「テレビ消し忘れ防止」を設定していた場合、自動的に電源が切れます。	28 39	023 138
放送終了後に電源が切れたときは、「無信号電源オートオフ」機能が働いたためです。	39	139

テレビの中から「カチッ」と音がする		
番組表などの情報を取得するために内部の回路が自動的に動作する音です。	–	–

この取扱説明書のページ番号
お助けガイドのページ番号

DLNA機器について

本機は、DLNAガイドラインに対応したネットワーク機器(サーバー)に記録された、静止画および映像を楽しめます。

接続対象機器

DLNAガイドラインに対応したネットワーク機器

- DLNAガイドラインに対応した機器は下記のホームページでご確認いただけます。
  http://product.dlna.org/jp/

ネットワーク機器(サーバー)について

ネットワーク機器(サーバー)の種類によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合もあります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。ネットワーク機器でファイアウォールが設定されている場合にはネットワーク機能が使えない場合があります。ネットワーク機器の取扱説明書をご覧のうえ、必要な設定変更をしてください。

再生対象ファイル形式について

ネットワーク機器(サーバー)から送られるファイル形式が下記に該当するファイルを再生できます。ネットワーク機器(サーバー)によっては、ファイル形式を変換して送ります。その場合、変換されたあとのファイル形式が対象となります。詳しくは、ネットワーク機器(サーバー)の取扱説明書をご覧ください。

静止画　JPEG形式

JPEG_SM	640×480ドット以下
JPEG_MED	1024×768ドット以下
JPEG_LRG	4096×4096ドット以下のプロファイルに対応

- ただし、全て1024×768以下で表示されます。
- JPEG_LRGのプログレッシブは再生できません。

映像　MPEG2形式（DVD-VR（NTSC）準拠）

- 上記のファイル形式でも、一部再生できない場合があります。

HDMI機器制御機能について

HDMI CEC (Consumer Electronics Control) は、HDMI規格の中のオプションとして決められています。HDMI CEC対応の機器同士をHDMIケーブルで接続すると、互いに相手の機器を操作することができます。本機はHDMI CEC規格「High-Definition Multimedia Interface Specification」に書かれているCECの基本動作にのみ対応しています。

HDMI機器制御機能を使うには

- 本機のHDMI端子にHDMI CEC対応機器をHDMIケーブルで接続します。
- 「HDMI機器制御設定」を「制御する」にします。
  ➔ 42ページ

ご注意

- 出荷時、「HDMI機器制御設定」は「制御する」に設定されています。
- 全てのHDMI対応機器がCECに対応しているわけではありません。CECに対応していない機器を接続したときは、本機のHDMI機器制御機能は働きません。
- 全てのHDMI CEC対応機器との動作を保証するものではありません。接続機器との動作が不安定になった場合は、「HDMI機器制御設定」を「制御しない」にしてください。
- HDMI機器制御機能は、本機の全てのHDMI端子で共通の設定です。HDMI端子ごとに設定することはできません。

本機が対応可能なHDMI CECによる操作

■ HDMI CEC対応機器を操作すると、
- TVの電源が入ります。
- 本機の入力が切り換わり、その機器の映像が映ります。
- TVの電源が切れます。

■ 本機の電源を切ると、CEC対応機器の電源が切れます。

■ 本機の入力を切り換えると、HDMI CEC対応機器に知らせます。

ご注意

- HDMI CEC対応機器の操作方法については、機器の取扱説明書をお読みください。
- 本機の電源コードがコンセントに接続されていないとHDMI CECは働きません。
- 本機がチャンネルスキャン中のときは、機器からの操作を受けつけません。
- 機器の設定や動作状態(たとえば録画中など)によっては、本機の電源を切っても機器の電源が切れないことがあります。
- 本機は、上記以外のCECによる動作(例えば、TVからDVDレコーダーを操作して、録画した番組を再生するなど)には対応していません。

こんなメッセージが出たら

本機は、お使いの状況に合わせてメッセージを表示します。以下は主なメッセージとその対処方法です。表示されたときは、「こうしてください」欄をご確認いただき、正しくお使いください。
メッセージ番号は、エラーの内容に応じて表示されます。

画面メッセージ	こうしてください	取扱説明書	お助けガイド
BS/CSアンテナとの接続に不具合があります。アンテナの設定で電源供給方法やケーブルとアンテナに異常がないか確認してください。	アンテナを正しく接続･設定する。	16	260
放送チャンネルではないため、視聴できません。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・ 放送されていないチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
現在放送されていません。別のチャンネルを選んでください。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・ 放送休止中のチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
信号が受信できません。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・ 雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
	アンテナケーブルやコネクターを点検する。 ・ アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	16	260
降雨などによる電波障害のため、自動的に降雨対応画面に切り換えています。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・ 雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
	アンテナケーブルやコネクターを点検する。 ・ アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	16	260
SDカードが挿入されていません。	SDメモリーカードを挿入してから、**SDカードボタン**を押す。	35	119
時刻情報が取得できていないため、この機能は利用できません。	デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	16 40	260 414 415
必要な情報が取得できませんでした。	デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	16 40	260 414 415

お助けガイドの項目一覧

解説ページを直接指定する ➔ 7ページ

お助けガイドの使いかた

準備･接続

チャンネル設定

見る

いろいろな機能

番組表・予約

アクトビラ

設定

こんなときは

解説を読もう

主な仕様

システム

● 受信方式　NTSC(VHF/UHF/CATV)

● 受信チャンネル
VHF 1～12、UHF 13～62、CATV C13～C38
地上デジタル放送のチャンネルに対応　000～999
BSデジタル放送のチャンネルに対応　000～999
110度CSデジタル放送のチャンネルに対応 000～999
・CATVパススルー(全帯域)に対応

● 画面寸法(幅×高さ×対角)
LCD-47DX200(47V型)
104.1 cm × 58.6 cm × 119.4 cm
LCD-42DX200(42V型)
93.1 cm × 52.4 cm × 106.7 cm

● 表示画素数　水平:1920 垂直:1080

● スピーカー　4.5 cm×16 cm、2個

● 音声出力　10 W + 10 W

電源部

● 使用電源　AC 100 V、50/60 Hz

● 消費電力
LCD-47DX200:
① 319 W ② 0.2 W ③ 24 W ④ 265 kWh/年
LCD-42DX200:
① 255 W ② 0.2 W ③ 24 W ④ 205 kWh/年
① 消費電力
② 待機時消費電力
③ BS・110度CSデジタルチューナー部動作時（機能待機時）（BS・110度CSコンバーター最大4Wを除く）
④ 年間消費電力量[テレビ時]

● 区分名　BII

入出力端子

● アンテナ端子
VHF/UHF: 75Ω、F型
地上デジタル: 75 Ω、F型 (CATV(VHF)も対応)
BS・110度CS: 75Ω、F型
(BS・110度CSコンバーター用電源DC15V 4W 重畳)

● ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3入力端子
S1映像(S映像)(ビデオ3を除く):
Y: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
C: 0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス

● ビデオ3コンポーネント映像入力端子
(1125i)
Y : 1 V(p-p)、75 Ω±20%
同期信号分±0.30 V(p-p)、3値同期
Pb 、Pr: ±0.35 V(p-p)、75 Ω±20%
(750p/525p/525i)
Y : 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
Cb 、Cr: 0.7 V(p-p)、75 Ω±20%

● D4映像入力(ビデオ1)端子映像: D端子(D4)

● HDMI1、HDMI2、HDMI3入力端子
HDCP対応映像:1125p/1125i/750p/525p/525i
音声:2CH PCM

● HDMI 接続用 アナログ音声入力端子
音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス

● モニター/録画出力端子
S1映像: Y 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
C: 0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
音声: 0.5 V(rms)、ローインピーダンス

● i.LINK入出力端子(2系統) 4ピン S400

● 光デジタル音声出力端子　-18 dBm、660 nm
メニュー設定によりMPEG2 AACとPCMを切り換えて出力

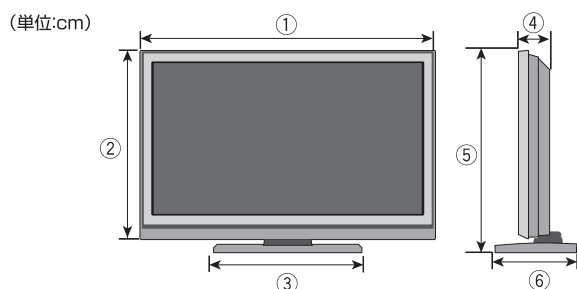
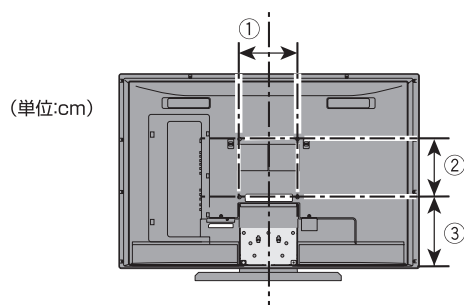
● 電話回線端子 2Pモジュラージャック、
モデム伝送レート 2400 bps

● ビデオリモートコントローラー出力端子
ミニジャック

● ヘッドホン端子
直径 3.5 mm、ステレオミニジャック

● LAN端子(10BASE-T / 100BASE-TX端子)

外形寸法・その他

LCD-47DX200: ①112.1 ②72.7 ③50.0
④13.0 ⑤77.4 ⑥29.6
LCD-42DX200: ①100.7 ②66.0 ③50.0
④12.9 ⑤70.7 ⑥29.6

● 壁掛け金具の取り付け孔位置
LCD-47DX200: ① 40.0 ② 20.0 ③ 28.0
LCD-42DX200: ① 40.0 ② 20.0 ③ 24.6

● 画面角度の調節範囲
左右各20度

● 質量
LCD-47DX200: 34.2 kg
LCD-42DX200: 28.4 kg

● 付属品 **14**ページ参照

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※ テレビのV型(47V型、42V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。

※ 電源を切っていても番組表データが取得できるまでは、機能待機時と同様の消費電力となります。

※ 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※ 本機は「JIS C61000-3-2適合品」です。

※ 区分名とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)で、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づき区分されたものです。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談 ＜三洋電機株式会社 お客さまセンター＞

受付時間：（365 日）9:00 ～ 18:30

総合相談窓口	050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は**大阪(06)-6994-9570**にお かけください。
※郵便またはFAXでご相談される場合
三洋電機株式会社 お客さまセンター　〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX：大阪(06)-6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談 ＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間：月曜日　～　金曜日 9:00 ～ 18:30
土曜･日曜･祝日･当社休日 9:00 ～ 17:30

修理相談窓口	東コールセンター	関東・甲信越地区	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
		北海道地区	050-3116-2333
		東北地区	050-3116-2444
	西コールセンター	近畿・北陸・四国地区	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
		中部地区	050-3116-2666
		中国地区	050-3116-2777
		九州地区	050-3116-2888

沖縄地区	098-944-5018

(※) 沖縄地区の受付時間：月曜日～土曜日　9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談 ＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間 : 月曜日～土曜日　9:00 ～ 17:30（日曜、祝日を除く）

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

< 利用目的 >

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

< 業務委託の場合 >

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細はホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

持込み修理および部品についてのご相談

	都道府県名	サービスセンター&ステーション	電話番号	郵便番号	住所
北海道地区	北海道	札幌サービスセンター	☎(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
		旭川サービスステーション	☎(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
		函館サービスステーション	☎(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
		釧路サービスステーション	☎(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6
		北見サービスステーション	☎(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
東北地区	青森県	青森サービスステーション	☎(017)729-3401	〒030-0141	青森市上野字山辺29-5
	岩手県	盛岡サービスセンター	☎(019)623-1600	〒020-0824	盛岡市東安庭2-12-1
	宮城県	仙台サービスセンター	☎(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
	秋田県	秋田サービスステーション	☎(018)862-6551	〒011-0901	秋田市寺内イサノ93-1
	山形県	山形サービスステーション	☎(023)641-1769	〒990-2331	山形市飯田西4-5-35
	福島県	郡山サービスステーション	☎(024)945-6793	〒963-0107	郡山市安積3-120
関東･甲信越地区	茨城県	水戸サービスステーション	☎(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
		つくばサービスステーション	☎(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
	栃木県	宇都宮サービスステーション	☎(028)614-3883	〒321-0111	宇都宮市川田町字免ノ内765-5
	群馬県	伊勢崎サービスステーション	☎(0270)40-7611	〒372-0003	伊勢崎市華蔵寺町87-1
	埼玉県	さいたまサービスセンター	☎(048)778-3095	〒362-0025	上尾市上尾下780-1
		坂戸サービスステーション	☎(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17
	千葉県	千葉サービスセンター	☎(043)208-3800	〒260-0842	千葉市中央区南町3-7-15
		鎌ヶ谷サービスステーション	☎(047)441-0111	〒273-0105	鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
	東京都	武蔵野サービスセンター	☎(042)364-7721	〒183-0033	府中市分梅町5-9-1
		城東サービスステーション	☎(03)5697-8160	〒120-0005	足立区綾瀬7-22-15 綾瀬7丁目ビル
		城北サービスステーション	☎(03)5914-3413	〒174-0051	板橋区小豆沢(アズサワ)1-23-10
		城西サービスステーション	☎(03)5347-0761	〒167-0032	杉並区天沼3-12-12 テック杉並
		相模原サービスステーション	☎(042)788-2760	〒194-0012	町田市金森851-3
	神奈川県	横浜サービスセンター	☎(045)827-2831	〒244-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
	新潟県	新潟サービスセンター	☎(025)285-2431	〒950-0942	新潟市中央区小張木2-16-43
	山梨県	甲府サービスステーション	☎(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23
中部･北陸地区	富山県	富山サービスステーション	☎(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8
	石川県	金沢サービスセンター	☎(076)292-2060	〒921-8005	金沢市間明町2-100
	福井県	福井サービスステーション	☎(0776)53-7134	〒910-0834	福井市丸山1-1002
	長野県	松本サービスステーション	☎(0263)40-3411	〒390-0852	松本市島立1064-1
	岐阜県	岐阜サービスステーション	☎(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
	静岡県	静岡サービスセンター	☎(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
		沼津サービスステーション	☎(055)935-0501	〒410-0822	沼津市下香貫七面1152-2
		浜松サービスステーション	☎(053)461-8685	〒430-0812	浜松市南区本郷町123
	愛知県	名古屋サービスセンター	☎(052)485-3620	〒453-0816	名古屋市中村区京田町2-1
	三重県	津サービスステーション	☎(059)236-5195	〒514-0111	津市一身田平野285-2
近畿地区	滋賀県	滋賀サービスステーション	☎(077)514-2221	〒524-0021	守山市吉身4-1-24 南井産業第3ビルB棟
	京都府	京都サービスセンター	☎(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
	大阪府	大阪サービスセンター	☎(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
		大阪南サービスステーション	☎(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
		阪和サービスステーション	☎(072)221-8571	〒590-0026	堺市堺区向陵西町2-1-24
	兵庫県	神戸サービスセンター	☎(078)641-1251	〒653-0038	神戸市長田区若松町2-1-9 ピアザビル3F
		阪神サービスステーション	☎(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
		姫路サービスステーション	☎(0792)82-7892	〒670-0943	姫路市市之郷町1-9
		淡路サービスステーション	☎(0799)42-6015	〒656-0478	南あわじ市市福永536-1
	奈良県	奈良サービスステーション	☎(0744)22-7888	〒634-0817	橿原市寺田町113-1
	和歌山県	和歌山サービスステーション	☎(073)473-7112	〒640-8301	和歌山市岩橋1636-1
中国地区	鳥取県	鳥取サービスステーション	☎(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
	島根県	松江サービスステーション	☎(0852)23-1183	〒690-0044	松江市浜乃木2-15-3
	岡山県	岡山サービスセンター	☎(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
	広島県	広島サービスセンター	☎(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町2-1-2
		福山サービスステーション	☎(084)954-4101	〒721-0952	福山市曙町4-22-10
	山口県	山口サービスステーション	☎(083)973-3391	〒754-0024	山口市小郡若草町2-6
四国地区	徳島県	徳島サービスステーション	☎(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1
	香川県	高松サービスセンター	☎(087)843-1840	〒761-0101	高松市春日町字片田1657-1
	愛媛県	松山サービスステーション	☎(089)979-3486	〒799-2655	松山市馬木町274
	高知県	高知サービスステーション	☎(088)831-2570	〒780-8007	高知市仲田町6-12
九州地区	福岡県	福岡サービスセンター	☎(092)928-3414	〒818-0061	筑紫野市紫6-1-1
		北九州サービスステーション	☎(093)521-5286	〒802-0004	北九州市小倉北区鍛冶町2-4-7
	長崎県	長崎サービスステーション	☎(095)813-3545	〒851-0101	長崎市古賀町1006-5
	熊本県	熊本サービスセンター	☎(096)388-3434	〒861-8045	熊本市小山3-2-11 熊本トラックターミナル内
	大分県	大分サービスステーション	☎(097)543-3454	〒870-0829	大分市椎迫5-6組
	宮崎県	宮崎サービスステーション	☎(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎市大橋3-224
	鹿児島県	鹿児島サービスステーション	☎(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10
沖縄地区(※)	沖縄県	沖縄三洋販売株式会社 サービス部	☎(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。 010407J

著作権

■ 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■ あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■ i.LINKは、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394-1995および その拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴはソニー株式会社の商標です。

■ SDロゴは商標です。

■ DLNAおよびDLNA Certifiedは、Digital Living Network Allianceの商標です。

■ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

■ Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

■ 本機から電話回線を使用して通信を行う場合、フリーダイヤル(通話料金無料)でない限り、電話料金はお客様の負担になります。

■ 本機は電波産業界規格に基づいた仕様になっております。将来規格の変更があった際は、本機の仕様を変更する場合があります。

■ この製品に使用されているソフトウェアに関する情報については、メニューボタンを押して、「初期設定」→「デジタル放送共通設定」→「自動ダウンロードの設定」画面を表示中に黄色(情報表示)ボタンを押すと本機のソフトウエアに関する情報が表示されます。

■ 有料番組のなかには、その製作者によって「視聴すること」のみ許可されている場合があります。これらのプログラムは著作権保護されており、いかなる目的といえども、著作権者の文書による明示された許可がない限り、コピーまたは再生できません。

■ この製品には、株式会社リコーがデザイン製作した下記書体のリコーフォントを使用しています。
・平成丸ゴシック体TM-W4
・平成丸ゴシック体TM-W8
・平成角ゴシック体TM-W5
・Newゴシック体

■ マックスオーディオはWaves Audio LTD. の登録商標です。

・Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
・Gガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
・米 Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

■ This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

■ お助けガイドは株式会社カナックから使いかたナビ®の技術供与を受けています。

DTLAの説明

著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。
このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データを、i.LINKを使ってデジタルコピーできない場合があります。
また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

■ 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

MPEG2 AACに関する使用特許番号の表示

本機において、MPEG2 AACに関する下記番号の特許(出願中も含む)を使用しています。
特許番号(出願番号)
5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189
5,357,594 5,752,225 5,394,473 5,583,962
5,274,740 5,633,981 5,297,236 4,914,701 5,235,671
07/640,550 5,579,430 98/03037 97/02875
97/02874 98/03036 5,227,788 5,285,498
5,481,614 5,592,584 5,781,888 08/039,478
08/211,547 5,703,999 08/557,046 08/894,844
5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087 5,490,170
5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574
08/506,729 08/576,495 5,717,821 08/392,756

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や・ら・わ

保証とアフターサービス

■ この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。
お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(液晶パネルは2年間です)

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■ 保証期間が過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により有料修理いたします。

■ 修理を依頼される前に

44〜49ページの「故障かな?と思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容(できるだけ詳しく)

■ 補修用性能部品について

この商品の補修性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検

● 長年ご使用のテレビの点検をぜひ! (熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか		ご使用中止
● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ● 映像が時々消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他異常や故障がある。		故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質[注1]を含有しておりません[注2]。
(JIS C 0950の電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております)
【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」および「ポリブロモジフェニルエーテル」の6種類の化学物質
【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。
http://www.sanyo.co.jp/Environment/

お客さまメモ

品番	LCD-42DX200 / LCD-47DX200
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社　www.sanyo.co.jp

グローバル営業グループ　国内マーケティング本部
マーケティング統括部　AV商品企画部
〒110−8534　東京都台東区上野1丁目1番10号

LCT2359-001A
0707HHH-MW-VP
(N4ZK)